

種目	等級	臨時市場稅		市場稅		湯屋	
		町	村	町	村	町	村
演劇日稅	一	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾六錢	貳圓九拾九錢	貳圓九拾九錢	壹圓八拾七錢	壹圓八拾七錢
	二	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾六錢	貳圓八拾一錢	貳圓八拾一錢	壹圓七拾錢	壹圓七拾錢
	三	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾壹錢	貳圓貳拾壹錢	壹圓五拾五錢	壹圓五拾五錢
	四	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾壹錢	貳圓貳拾壹錢	壹圓九錢	壹圓九錢
	五	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾六錢	貳圓貳拾壹錢	貳圓貳拾壹錢	壹圓貳錢	壹圓貳錢
待合茶屋							
遊船宿							
芝居茶屋							
理髮人							

種目	等級	備人請宿	遊藝師匠	遊藝稼人	相撲行司	俳優	幫間	藝妓
備人請宿	甲 一ヶ月	三拾七錢	甲 一ヶ月	甲 一ヶ月	丙 日稅	全	全	乙 以上列記外
遊藝師匠	乙 一ヶ月	貳圓貳拾四錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
遊藝稼人	甲 一ヶ月	貳圓貳拾四錢	甲 一ヶ月	甲 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
相撲行司	一ヶ月	貳拾六錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
俳優	全	四拾四錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
幫間	全	五拾錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
藝妓	全	三圓八錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		三圓五拾錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		貳圓八拾七錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		貳圓拾貳錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		九拾三錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		壹圓六錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		壹圓七拾錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀
		八拾五錢	乙 一ヶ月	乙 一ヶ月	丙 日稅	全	全	甲 福井小濱敦賀

屠畜	牛	馬	豚	漁業	海湖漁	河川漁	築	網	採	捕
	全	全	全				一ヶ所ニ付 九頭龍川 真名川 日野川、	一ヶ所ニ付 九頭龍川 真名川 日野川、 足羽川、	藻	鳥
	八拾八錢 壹圓	四拾四錢 五拾錢	貳拾六錢 三拾錢		貳拾貳錢 貳拾五錢	拾八錢 貳拾錢	拾貳圓 拾五圓	七圓九拾貳錢 九圓	拾九錢	拾九錢
	全	全	全	全	全	全	全	全	町	全
							村	井	井	村

○縣令第九十五號

明治二十三年十二月廿日

明治十八年甲第六十
七號布達(國稅ノ部
ニ出ス)同廿四年縣
及第九號同十八年縣
達第九號同十八年縣
及告示第十四號參看

縣稅徵收法細則縣會ノ議決ヲ取り左之通相定メ明治二十四年度分ヨリ施行ス

縣稅徵收法細則

第一條 徵收法第五條第六條ノ徵稅令書ハ每納期郡長ハ其町村ノ現在數市長ハ其市各人各
個ノ賦課額ニ依リ納額ヲ測定シ郡ハ第一號市ハ第二號樣式ニ依リ調製シ納期初日十五日
前ニ之ヲ發付ス可シ

徵收法第七條ノ隨時收入ハ郡ハ第三號市ハ第二號樣式ニ依リ調製シ直チニ之ヲ各納稅人
ニ發付ス可シ

町村長ニ於テ郡長ヨリ徵稅令書ヲ受ケタルトキハ第六號樣式ニ依リ其傳令書ヲ調製シ之
ヲ各納稅人ニ發付ス可シ

徵稅令書又ハ徵稅傳令書水火災ニ罹リ又ハ亡失若クハ遺失毀損シ納人ヨリ再發ヲ請フト
キハ直チニ之ヲ發付ス可シ

第二條 町村長ニ於テ徵稅令書ヲ受ケタル後チ事故ニ依リ賦課額ニ増減チ生シタルトキハ
直ニ郡長ニ報告ス可シ

郡長ハ其增加ニ係ルモノハ第一號樣式ニ依リ更ニ令書ヲ追發シ其減額ニ係ルモノニ通報
書ヲ製シ之ヲ發付ス可シ

第三條 市長ニ於テ税金ヲ納付スルトキハ第四號様式ノ納付證及第五號様式ニ依リ調製シ之ニ現金ヲ添ヘ縣廳爲替方ヘ預ケ入レ其證印ヲ受ケ出納吏ヘ納ム可シ

町村長ニ於テ税金ヲ納付スルトキハ第四號様式ノ納付證及第五號様式ニ依リ明細書ヲ調製シ現金ヲ添ヘ爲替方ニ預ケ入レ其納付證ニ證印ヲ受ケ出納吏ヘ納ム可シ

隨時收入ニ係ル納税人ニ於テ其税金ヲ納付スルトキハ徵稅令書ニ現金ヲ添ヘ町村ハ爲替方ヘ預ケ入レ其證印ヲ受ケ出納吏ヘ市ハ其市收入役ニ納ム可シ

第四條 出納吏ニ於テ前條ノ税金ヲ受ケタルトキハ收入簿ニ記載シ納付證ニ接續セル領收證ノ位置ニ捺印シ之ヲ切離シ其納人ヘ還付スヘシ

第五條 納税人又ハ町村長ヨリ税金過納ノ下戻ヲ請求スルカ若シハ過納ナルヲ發見シタルトキハ郡長ハ其下戻金ノ支出ヲ出納吏ニ命ス可シ

出納吏ハ現金ヲ交付シ其領收證書ヲ徵ス可シ

第六條 郡市長ニ於テ既ニ縣廳ヘ送納シタル税金ニシテ過納アルヲ發見シ之レカ下戻ヲ要スルトキハ第七號様式ニ依リ計算書ヲ調製シ知事ニ請求スヘシ

下戻金ノ交付ヲ受ケタルトキハ郡ハ其出納吏市ハ市長ニ於テ第八號様式ノ領收書ヲ縣廳出納吏ヘ送付スヘシ

第七條 納期ノ末日日曜日又ハ大祭日祝日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ納期ノ終トス

第八條 町村長ハ滞納者アルトキハ金額及稅目氏名等ヲ記載シタル調書ヲ製シ納期限後三日ヲ限リ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第九條 毎年四月ヨリ九月マテニ徵收セシ稅額ニ對スル交付金ハ其年十月中十月ヨリ翌年三月マテニ係ル交付金ハ翌年四月中之ヲ下付スヘシ

第十條 出納吏ハ第九號ノ様式ニ依リ交付金調書ヲ製シ其年四月ヨリ九月マテノ分ハ十月五日限リ十月ヨリ翌年三月マテノ分ハ其年四月五日限リ之ヲ知事ニ稟請ス可シ

前項ニ依リ交付スル金額ハ出納吏ニ送回シ出納吏ヨリ之ヲ市町村ヘ送達セシム

第一號様式

用紙適宜 縱四寸五分 横三寸


徵稅令

第何號	何郡何町	長氏名納
明治何年度	縣	稅何々
前(后)半期分		

一金何程

右何月何日限現金ハ爲替方ヘ相預出納吏ヘ納付スヘシ

明治何年何月何日

何郡長氏名 

第二號樣式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ三枚續
横二寸

徵稅令書

元印

一金何程

右何月何日收入役ノ納付スヘシ

明治何年何月何日

何市長氏名

印

納收印

第何號

明治何年度

縣

稅何

々

前(后)半期分
又ハ隨時收入

一金何程

右納付候也

明治何年何月何日

何市何町

何之誰

印

領收證

第三號樣式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ三枚續
横二寸

徵稅令書

元印

一金何程

右何月何日現金ハ爲替方へ相預出納吏へ納付スヘシ

明治何年何月何日

那長氏名

印

納收印

第何號

明治何年度

縣

稅何

々

前(后)半期分
又ハ隨時收入

一金何程

右領收候也

明治何年何月何日

何市收入役氏名

印

納付		領收	
第何號	明治何年度	第何號	明治何年度
縣	縣	縣	縣
稅	稅	稅	稅
何	何	何	何
々	々	々	々
隨時收入	隨時收入	隨時收入	隨時收入
一金何程 右納付候也 明治何年何月何日 何郡何町(村) 何之誰 何月何日領收 方印		一金何程 右領收候也 明治何年何月何日 出納吏 官氏名 印	

第四號樣式
用紙適宜 縱四寸五分ノモノ三枚續
横二寸

納付		領收	
第何號	明治何年度	第何號	明治何年度
縣	縣	縣	縣
稅	稅	稅	稅
何	何	何	何
々	々	々	々
隨時收入	隨時收入	隨時收入	隨時收入
徵稅令書第何號ノ分又ハ金何程ノ内(市ハ之ヲ除ク) 一金何程 右納付候也 明治何年何月何日 何郡何町 村長氏名 印		徵稅令書第何號ノ分又ハ金何程ノ内(市ハ之ヲ除ク) 一金何程 右領收候也 明治何年何月何日 何郡何町 村長氏名 印	

證 預 證

右領收候也

明治何年何月何日

出納吏

官 氏 名



第 何 號

何 市 郡 町 村 長 氏 名 納

明 治 何 年 度

縣 稅 何 々

前(后)半期分
又ハ隨時收入

一 金 何 程

明 治 何 年 何 月 何 日

為 替 方 預



第五號樣式

用紙中折野紙

明 治 何 年 度 縣 稅 明 細 書

一 金 何 程

何 年 度 前(后)半期分
又ハ隨時收入 何 稅

內

稅

名 等

第 何 號 納 付 書 附 屬

員

數

右之通候也

明 治 何 年 何 月 何 日

何 郡 何 町 村 長 氏 名



第六號樣式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚積
横二寸五分

甲 第 何 號

何 之 誰 納

明 治 何 年 度

縣

稅 何 々

前(后)半期分

一 金 何 程

明 治 何 年 何 月 何 日 領 收



右 何 年 何 月 何 日 限リ 納 付 スヘ




明 治 何 年 何 月 何 日

何 郡 何 町 村 長 氏 名



書 令 傳

領收證

			
乙第何號			
明治何年度	縣	稅	何々
		前(后)半期分	
一金何程  右領收候也			
明治何年何月何日		何郡何町村收入役氏名 	
何之謹殿			

第七號樣式 用紙中折野紙

下戻計算書

第何號

一金何程

內譯

金何程

明治何年度縣稅前(后)半期分

何稅

金何程

金何程

是ハ何年何月何日第何號金何程送納内譯金何程何稅金何程何稅ノ内何町村何某(事由詳記)ニ付誤納分

金何程

金何程

金何程

是ハ何々

右(過)(誤)納下戻計算書面之通相違無之候也

明治何年何月何日

福井縣知事宛

第八號樣式 用紙中折野紙

證

一金何程

但何々ニヨリ何年何月何日第號請求分

縣稅中何稅

福井縣何市長氏名印

業雜種稅ノ課稅帖議案ハ最近ノ現在數ニ依リ調製ス可シ

第二條 戶數割又ハ營業稅雜種稅ノ課稅帖議案ヲ調製スルニ方リ便宜市町村委員ヲシテ每戶ノ貧富差等各營業者ノ賣上金高等ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

但營業稅雜種稅ハ同業者中ニ於テ總代人ヲ互選セシメ之ニ調査セシムルモ妨ナシ

第三條 開業後一ケ年ニ滿テサル者及ヒ調査ニ際シ賣上金高等ヲ隱蔽シ不實ノ申立ヲ爲スト見認ル者ハ相當ノ見込額ヲ以テ等級ヲ付ス可シ

第四條 市町村長ハ其市町村會ニ於テ議決シタル課稅帖ノ謄本ヲ作り之ヲ部内ニ公示シ且町村長ハ尙謄本一通ヲ作り之ヲ郡長ヘ報告ス可シ

第五條 既定ノ課稅帖ニ異動ヲ生シタル者ハ之ヲ訂正シ町村長ハ直チニ其旨郡長ヘ報告ス可シ

第六條 町村制第九十七條ニ該當シ町村稅ヲ免除スル土地アルトキハ町村長ニ於テ其調査ヲ作り地租割納期三十日以前ニ之ヲ郡長ヘ報告ス可シ其増減アルトキ亦同シ

第七條 本法第十六條ニ據リ交付スル鑑札ハ左ノ離形ニ照準調製ス可シ

第八條 工業者ニ使役セラル、傭人ノ鑑札ハ其傭主ヨリ之ヲ請求セシム可シ

木製 (用材適宜)

工業者使役傭人

表 三寸

番號 被傭人氏名 年月日生

〇何工業使傭人鑑札

縣國郡市町村字番地 傭主氏名

裏 年月日

〇福井縣

郡市役所印

〇職工 理髮人 遊藝師匠 遊藝務人 相撲(行司トモ) 俳優 幫間 乘馬 寫真師 捕鳥

表 三寸

番號 何鑑札

縣國郡市町村字番地 何某長(次)三男姉妹 其名アルモノ 氏名 年月日生(乘馬ヲ除ク)

裏 年月日

〇福井縣

郡市役所印

〇行商

三寸

<p>番號</p> <p>〇何々行商鑑札</p> <p>縣國郡市町村字番地</p> <p>氏名</p>	<p>表</p> <p>〇藝妓營業鑑札</p> <p>縣國郡市町村字番地</p> <p>何々氏名</p> <p>年月日生</p>
<p>表</p> <p>〇福井縣</p> <p>年月日</p> <p>郡市役所印</p>	<p>裏</p> <p>〇福井縣</p> <p>年月日</p> <p>郡市役所印</p>

藝妓 一寸五分

〇縣達第十八號 明治廿四年三月十四日

縣稅徵收取扱順序別冊之通相定メ明治二十四年度分ヨリ施行ス

但別冊ハ別ニ分ツ

郡市

明治廿四年縣達第三十一號ヲ以テ修正式追加

(別冊)

縣稅徵收取扱順序

- 第一條 徵收法細則第一條ニ據リ郡市長ニ於テ徵稅令書ヲ發スルニハ豫メ郡長ハ第一號第二號様式市長ハ第二號第三號様式ノ徵稅元帳ヲ調製シ置キ之ト割印スヘシ 郡長ニ於テ徵稅令書ヲ發付シタルトキハ其徵稅額ヲ出納吏ニ告知スヘシ
- 第二條 出納吏ハ豫メ第四號様式ノ收入簿ヲ調製シ置キ郡長ノ告知ニヨリ徵稅額ヲ記入シ其税金ヲ領收シタルトキハ尙收入濟額殘額等ヲ記入シタル後其納付證ヲ郡長ヘ送付スヘシ 郡長ニ於テ前項ノ納付證ヲ受ケタルトキハ徵稅元帳ニ記入スヘシ
- 第三條 市長ハ各納稅人ニ發スル領收證書ニ檢印シタルトキハ直チニ之ヲ徵稅元帳ニ記入スヘシ
- 第四條 出納吏ニ於テ税金ヲ本廳ヘ送納スルトキハ爲換方送金手形ヲ以テ第五號様式ノ送納證ヲ添付スヘシ 出納吏ニ於テ税金ヲ送納シタルトキハ直チニ之ヲ郡長ヘ報告スヘシ 縣廳出納吏ニ於テ前項ノ送納金ヲ受ケタルトキハ到達後七日以内ニ第六號様式ノ領收證ヲ交付スルモノトス

明治廿四年縣達第三十一號ヲ以テ修正

第五條 郡市長ニ於テ徵稅令書ヲ發付シタル後稅額ニ異動ヲ生シ若クハ欠損ニ屬スルモノ
アルトキハ之ヲ徵稅元帳ニ記入スヘシ其過誤納ニ係ルモノモ亦全シ

縣廳ニ送納シタル稅金ニ對シ所屬年度若クハ科目ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ郡市長ハ
之ヲ徵稅元帳ニ記入シ第七號様式ニ據リ縣廳ニ報告スヘシ

郡長ニ於テ前二項ノ取扱ヲナシタルトキハ之ヲ出納吏ニ告知スヘシ

第六條 納稅後稅額ノ變更ニ依リ增加稅ヲ徵收シタルトキハ其增加稅ノニ新科目ニ依リ整
理スルモノトス

第七條 過年度ニ溯リ徵收セシ稅金ハ其收入セシ年度ノ雜入トシテ第四條ニ準據シ縣廳ニ
送納スヘシ

第八條 出納吏若クハ市長ハ納額ニ對スル收入濟額收入未濟額ヲ整理シ毎月第八號様式ニ
依リ收入額報告書ヲ製シ出納吏ハ郡長ヲ經市長ハ直チニ翌月十日ヲ限リ之ヲ縣廳ニ報告
スヘシ但年度ノ終ニ於テハ收入完了ヲ遂ケ五月十五日限リ之ヲ報告スヘシ

第九條 縣稅滯納者アルトキハ第九號様式ノ帳簿ニ記入スヘシ

記簿凡例

一 徵稅令書ヲ元帳ト割印シ之ヲ發スルトキハ其納額ヲ一町村毎ニ第一號ノ帳簿ニ又告知

隨時收チ受ケタルトキハ第四號帳簿ニ市ノ各納稅人ニ發スル徵稅令書ハ第三號帳簿ニ
入トモ

(イ)印ノ如ク記載シ其増額ハ(ロ)印ノ如ク記入シ其減額ハ(ハ)印ノ如ク記載スルモノトス

一 稅金ヲ收入シタルトキ又ハ告知チ受ケタルトキハ第四號帳簿ニ納付證チ受ケ若クハ領

收證ニ檢印シタルトキハ第一號又ハ第三號帳簿ノ納額ニ照合シ(ニ)印ノ如ク記載シ其

殘高チ(ホ)印ノ如ク掲記スルモノトス

一 收入シタル稅金ヲ縣廳ニ送納スルトキ爲替方送金手形ニ爲シタルモノハ(チ)印ノ如ク

集計シ之ヲ送納シ直チニ現金ヲ以テ納付スルモノハ(ヌ)印ノ如ク記載スルモノトス

一 誤納還付若クハ收入過ニ屬スルモノハ朱字ヲ以テ其欄ニ記入スルモノトス

一 滯納處分ノ未追徵シタル稅金ハ(ヘ)印ノ如ク記入シ其缺損ヲ生セシモノハ(ト)印ノ如

ク掲記スルモノトス

一 一ヶ月毎ニ(リ)印ノ如ク記載シ二ヶ月以後ハ累計ヲ爲シ收入濟額收入未濟額ノ報告ヲ

爲スモノトス

一 一ヶ月ノ計及累計ニ對スル仕譯書ハ徵稅額告知書又ハ町村長ヨリ納付セシ證書ニ附屬

スル細明書チ一ヶ月分取纏メ其計算書ヲ添付シ測定濟額并ニ收入濟額ノ證憑トナスモ

ノトス

臨時収入何税			
市ハ檢印済月日トス			
摘要	調定額	収入月日	税目
何月何日 第何號令書發付	〇〇〇〇 〇〇〇〇	何月何日	還付
何月何日 第何號令書發付	〇〇〇〇	何月何日	納人氏名
何々事故ニヨリ 何税還付			某何村某

第三號様式

何年度 縣稅徵稅元帳

此帳簿ハ地租割營業稅雜種稅戶
數割ノ四個ニ分チ調製スヘシ

市役所名

前	後	人
半	半	名
期	期	
主任印以下全 〔金何程〕 料理屋稅 何月何日 〇 檢印済	主任印以下全 〔金何程〕 何 稅 内〔金何程〕 金何程 〇 何月何日 檢印済 金何程 〇 何月何日 檢印済	何 之 誰
〔金何程〕 湯屋稅 何月何日 〇 檢印済	〔金何程〕 何 稅 何月何日 〇 檢印済	何 之 誰
〔金何程〕 何々稅 何月何日 〇 檢印済	〔金何程〕 何 稅 何月何日 〇 檢印済	何 之 誰

		〔一〕金何程〇 何々税 何月何日 〇 檢印濟	何之誰
		〔二〕金何程〇 何 税 何月何日何々ニユリ 處分濟欠損	何之誰
		〔三〕金何程〇 何 税 何月何日 檢印濟	何之誰
		〔四〕金何程〇 何 税 殘金何程〇何月何日檢印濟 金何程〇何月何日處分濟收入	何之誰

計 合		
	金何程〇 内 金何程〇何月何日納付	金何程〇 内 金何程〇何月何日納付
金何程〇 何々	金何程〇 何々	金何程〇 何々

五月十五日	小 以	五月十八日	五月廿五日	小 以	計	累計
何々ニヨリ第何號ヲ以テ送納	何々ニヨリ第何號ヲ以テ送納	何々ニヨリ何町長へ下戻	公賣處分ノ未徴收	何月何日第何號ヲ以テ送納	(イ) 112,400	(イ) 112,400
(ニ) 800	(チ) 200	(ク) 1,300	(カ) 1,300	(イ) 1,300	(イ) 113,700	(イ) 113,700
(ホ) 1,370	(ホ) 100	(ホ) 100	(ホ) 1,000	(イ) 1,000	(イ) 114,700	(イ) 114,700
(ホ) 1,370			特因何々ニヨリ大損	(イ) 1,000	(イ) 115,700	(イ) 115,700

工業税

月 日	摘要	調定 額	減額	収入 額	過誤 還付	残高	備考
四月十五日	何々ニヨリ第何號ヲ告知ヲ受ク	(イ) 110,000					
五月五日				(ニ) 100,000		(ホ) 100,000	
五月七日				(ニ) 20,000		(ホ) 120,000	
五月九日	何々ニヨリ増額ノ告知ヲ受ク	(ロ) 10,000				(ホ) 130,000	
五月十日				(ニ) 30,000		(ホ) 160,000	
小 以	何月何日第何號ヲ以テ送納			(チ) 150,000		(ホ) 310,000	
五月十一日				(ニ) 5,000		(ホ) 315,000	
五月十二日	何々ニヨリ減額ノ告知ヲ受ク		(ハ) 30,000			(ホ) 285,000	

五月十五日	小以	五月十八日	五月廿五日	小以	計	累計
何半期分何町長	何月何日第何號	何々々ヨリ下戻	何町滞納者ニ係ル公賣處分濟徴	何月何日第何號		
納	ヲ以テ送納	ス	收	ヲ以テ送納	(イ)	
七五九〇〇	七八五〇〇		四七〇〇〇	一五七〇〇	二八七三三〇	
(ホ)	(ホ)	三〇〇	(ホ)	(イ)	二八六六〇〇	
一五七五〇	一五四五〇	七五〇	七五〇	(イ)	七五〇	七五〇
						七五〇

料理屋稅

月日	摘要	調定濟額	減額	收入濟額	過誤納還付	殘高	備考
四月十五日	納額ノ通知ヲ受ク	(イ) 一四三〇〇					
五月五日				(ニ) 七五〇〇〇		(ホ) 六八一〇〇	
五月七日				(ニ) 一三九三五		(ホ) 五四一七五	
五月九日	何々々ヨリ増額ノ分通知ヲ受ク	(ロ) 〇八三五				(ホ) 五五〇〇〇	
五月十日				(ニ) 七七五〇		(ホ) 四七二五〇	
小以	何月何日第何號ヲ以テ送納			(チ) 九六六七五			
五月十一日				(ニ) 一三三三五			
五月十二日	何々々ヨリ減額ノ通知ヲ受ク		(シ) 〇一〇〇			(ホ) 四五八二五	

五月十五日	小以	五月十八日	五月廿五日	小以	計	累計
何月何日第何號ヲ以テ送納	何々コヨリ何町長へ下戻	公賣處分ノ末徴收	何月何日第何號ヲ以テ送納			
(ニ) 三七一五〇	(チ) 三七一五〇	(ホ) 三三三〇〇	(イ) 一四三三六五	(ウ) 一四三三六五		
(ホ) 七八七五	(ホ) 〇一五〇	(ク) 〇三三〇	(リ) 〇三三〇	(リ) 〇三三〇		
		(ト) 〇三三〇	(ヤ) 〇三三〇	(ヤ) 〇三三〇		

第五號様式 用紙中折野紙

三行ノ余白ヲ要ス

證

明治何年度前(后)半期分又ハ隨時收入

縣稅中何稅

(但督促令狀發付后收入)

第何號 一金何程

內 金何程

金何程

何 何 稅 稅

右送納候也

出納吏

官氏名印

明治何年何月何日

縣知事宛

明治廿四年
正
以
六
十
六
年
更
正

第六號樣式

花紋

第何號
燈

一金何程
但明治何年度縣稅中何々前(后)半期分
右領收候也

出納吏
明治何年何月何日
官氏名印

出納吏
官氏名宛

第七號樣式 用紙中折野紙

縣稅課目更訂報告

第何號

一金何程
何年度前(后)半期分
何稅ヲ何稅ニ更訂
何年何月何日第何號金何程送納内譯金何程ノ内何々ニヨリ前記更訂相成度分
右更訂報告候也

明治何年何月何日
郡市長氏名

縣知事宛

○告示第七十一號 明治廿四年四月十八日

明治二十四年度地方稅收支追加豫算臨時縣會ノ決議ヲ取り左ノ通定メタリ

明治二十四年度地方稅支出追加豫算

一金八百六拾圓八拾貳錢六厘

警察費

內

金七百拾七圓三拾五錢五厘

地方稅

金百四拾三圓四拾七錢壹厘

國庫下渡金

內譯

金貳百五拾貳圓貳拾貳錢

雜給

金六百八圓六拾錢六厘

廳費

一金百三拾三圓

警察廳舍建築修繕費

內

金百拾圓八拾三錢三厘

地方稅

金貳拾貳圓拾六錢七厘

國庫下渡金

內譯

金百三拾三圓

修繕費

一金百八拾九圓五拾錢

郡廳舍建築修繕費

內譯

金百八拾九圓五拾錢

修繕費

一金貳千三百貳拾圓貳錢九厘

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內譯

金千貳百八拾圓九拾九錢九厘

俸給

金五百五拾貳圓

雜給

金四百八拾七圓三錢

廳費

合計金三千五百三圓三拾五錢五厘

明治廿四年度地方稅收入追加豫算

一金千九拾圓拾八錢

地租割

但本年度町村地租豫算額五拾九萬五千九拾圓拾錢五厘地租壹圓二付貳厘

一金五百三拾貳圓九拾四錢

戶數割

但本年度町村戸數拾萬六千五百八十八戸ニ付五厘
一金千六百拾四圓五拾九錢七厘 前年度繰越金

内

金七百八拾圓四拾九錢六厘

郡部負擔ノ分

一金百六拾五圓六拾三錢八厘

國庫下渡金

合計金三千五百三圓三拾五錢五厘

○縣令第三十號 明治二十四年四月二十二日

明治二十四年度地方稅追加地租割及ヒ戸數割賦課額臨時縣會ノ議決ヲ經左ノ通り相定ム

一 町村地租壹圓ニ付金貳厘

一 町村戸數一戸ニ付金五厘

○縣令第三十一號 明治二十四年四月二十二日

明治二十四年度地方稅追加地租割戸數割納期限左之通相定ム

一 戸數割 六月一日ヨリ同十五日限

一 地租割 九月一日ヨリ同十五日限

○訓令第二十號 明治二十四年四月廿五日

郡市町村

明治廿三年五月訓令第十四號第六項中市長ノ文字ハ削除ス

○縣達第三十一號 明治二十四年五月十六日

郡 市

本年三月縣達第十八號縣稅徵收取扱順序中左ノ通改正追加ス

第一條 郡長ニ於テ縣稅徵收豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ第二條第一項第四條第二項ニ據

リ納付證又ハ報告ヲ受ケタルトキハ第十號様式豫算差引簿ニ記載スヘシ

市長ニ於テ縣稅徵收豫算ノ令達ヲ受ケタルトキ及税金收支ノ手續ヲ爲ストキハ第十號様

式豫算差引簿ニ記載スヘシ

徵收法細則第一條ニ據リ郡市長ニ於テ徵稅令書ヲ發スルニハ豫メ郡長ハ第一號第二號様

式市長ハ第二號第三號様式ノ徵稅元帳ヲ調製シ置キ之ト割印スヘシ

郡長ニ於テ徵稅令書ヲ發付シタルトキハ其徵稅額ヲ出納吏ニ告知スヘシ

第十號様式
何年度
縣稅豫算差引簿

何處

縣稅		月日	摘要	豫算額	收入	送納濟額	送納未濟額	殘額
		何月何日	何年何月何日第何號ノ達ヲ受ク	1000000				1000000
		何月何日	何々		50000			1050000
		何月何日	何々			80000		1130000
		何月何日	何々				10000	1140000
		何月何日	何々					1140000

營業稅		月日	摘要	豫算額	收入	送納濟額	送納未濟額	殘額
		何月何日	何年何月何日第何號ノ達ヲ受ク	500000				500000
		何月何日	何々		20000			520000
		何月何日	何々			15000		535000
		何月何日	何々				20000	555000
		何月何日	何々					555000

○告示第二百二十四號 明治廿四年八月四日

明治廿四年度地方稅(支出收入)追加豫算常置委員會ノ議決ヲ取り左ノ通り相定ム

明治二十四年年地方稅支出追加豫算

一金千八百九拾四圓拾壹錢五厘

土木費

但道路橋梁費

明治二十四年度地方稅收入追加豫算

一金千八百九拾四圓拾壹錢五厘

前年度繰越金

○告示第四百四十五號 明治廿四年九月廿六日

明治廿四年度縣歲出更正豫算及歲入出追加豫算臨時縣會ノ議決ヲ經左ノ通り相定ム

明治二十四年度縣歲出更正豫算

歲出

經常部

第四款 縣會議諸費 金五千百貳拾圓九拾五錢六厘

第一項 縣會議費 金三千百四拾貳圓六拾貳錢三厘

第二項 縣參事會諸費 金千九百七拾八圓三拾三錢三厘

第十八款 豫備費 金三千七百四拾九圓五拾貳錢貳厘

第一項 豫備費 金三千七百四拾九圓五拾貳錢貳厘

明治二十四年度福井縣歲入歲出追加豫算

歲入

經常部

第一款 地租 金四千百九拾九圓七拾六錢貳厘

內

市郡收入金四千百九拾九圓七拾六錢貳厘

第一項 地租 金四千百九拾九圓七拾六錢貳厘

但本年地租豫算高五拾九萬九千九百六拾六圓五錢六厘地租壹圓ニ付七厘

內

市郡收入金四千百九拾九圓七拾六錢貳厘

第二款 戶數 割 金千八百四拾三圓拾三錢六厘

內

市郡收入金千八百四拾三圓拾三錢六厘

第一項 戶 數 割 金千八百四拾三圓拾三錢六厘

但本年一月翻給戶數拾壹萬五千九百九拾六月壹戶ニ付壹錢六厘

內

市郡收入金千八百四拾三圓拾三錢六厘

經常部合計金六千四拾貳圓八拾九錢八厘

臨時部

第一款 繰 越 金 金壹萬貳千六百九圓三拾七錢貳厘

內

市郡收入金壹萬貳千六百九圓三拾七錢貳厘

第一項 前年度繰越金 金壹萬貳千六百九圓三拾七錢貳厘

歲入總計金壹萬八千六百五拾貳圓貳拾七錢

內

市郡收入金壹萬八千六百五拾貳圓貳拾七錢

歲出

經常部

第三款 土 木 費 金千八百九拾五圓五拾八錢八厘

第一項 道路橋梁費 金千八百九拾五圓五拾八錢八厘

臨時部

第一款 土 木 費 金三百貳拾圓八拾壹錢三厘

第一項 道路橋梁費 金三百貳拾圓八拾壹錢三厘

第二款 市町村土木補助費 金壹萬六千四百三拾五圓八拾六錢九厘

第一項 治水堤防費補助 金壹萬六千四百三拾五圓八拾六錢九厘

臨時部合計金壹萬六千七百五拾六圓六拾八錢貳厘

歲出總計金壹萬八千六百五拾貳圓貳拾七錢

○縣令第六十三號 明治二十四年十月六日

明治二十四年度縣歲入追加賦課額縣會ノ決議ヲ經左ノ通り相定ム

一地租壹圓ニ付 金七厘

一戶數壹戶ニ付 金壹錢六厘

○縣令第六十四號 明治廿四年十月七日

明治二十四年度縣歲入追加地租割戸數割納期限左ノ通相定ム

一追加地租割戸數割 十二月一日ヨリ金十五日限

○縣令第七十一號 明治廿四年十一月十四日

明治二十三年四月縣令第三十二號備荒儲蓄法施行規則第十二條左ノ通改正ス

第十二條 前條ノ如ク定ムト雖モ若シ非常ノ暴災ニ罹リタル場合ニ於テハ其制限ニ拘ハラ

ス一戸金拾圓以內ヲ支給スルコトアルヘシ

又此場合ニ於テ各自ニ小屋掛ヲ營ム能ハサル者及借家居住ニシテ罹災ノ爲メ他ニ身ヲ寄

スル所ナキ窮民アルトキハ一時雨露ヲ凌シ爲メ一戸ニ付金貳圓以內ヲ以テ假小屋ヲ營ミ

或ハ寺院民屋借上料等ニ充テ其急迫ヲ救フコトアルヘシ

前項一時ノ急ヲ凌クノ後チ各自借家居住者ヲ除クニ小屋掛ヲ營ムニ當リ資力ナキモノハ其小屋掛

料ヲ支給ス但此支給額ハ通シテ第一項ノ制限以內トス

○訓令第三十四號 明治廿四年十一月十七日

郡市町村

縣稅ヲ納ムル土地船車ニ對シ徵稅令等又ハ傳令書發付後納期限以前ニ於テ土地若シハ船車ノ所有權移轉又ハ土地ノ質入ニ係ルモノアルトキハ曩キノ令書ヲ更正スヘシ

○縣令第七十八號 明治廿四年十一月廿八日

明治二十四年度縣歲歲入追加豫算地租割戸數割縣會ノ議定ヲ經左ノ課率ニ依リ之ヲ賦課ス

一市郡地租壹圓ニ付 金三錢

一市郡戶數壹戶ニ付 金六錢五厘

○告示第七十一號 明治廿四年十一月廿八日

縣會ノ決議ヲ經タル明治廿四年度本縣歲歲入歲出追加豫算左ノ通

明治二十四年度福井縣歲歲入歲出追加豫算

歲入

經常部

第一款 地 租 割 金壹萬七千九百九拾八圓九拾八錢貳厘

第一項 填 租 割 金壹萬七千九百九拾八圓九拾八錢貳厘

但本年度地租豫算額五拾九萬九千九百六拾六圓五錢六厘地租壹圓二付金三錢

第四款 戶數 割 金七千四百八拾七圓七拾四錢

第一項 戶數 割 金七千四百八拾七圓七拾四錢

但二十三年總戶數拾壹萬五千九拾六戶戶數壹戶二付金六錢五厘

第六款 國庫下渡金 金五拾八圓六拾六錢七厘

第一項 警察費下渡金 金五拾八圓六拾六錢七厘

經常部

合計金貳萬五千五百四拾五圓三拾八錢九厘

歲出

經常部

第二款 警察廳合修繕費 金三百五拾貳圓

第一項 修繕費 金三百五拾貳圓

第三款 土木費 金七千五百五拾八圓拾八錢四厘

第一項 道路橋梁費 金七千五百五拾八圓拾八錢四厘

第四款 縣會議諸費 金六百九拾圓九拾六錢

第一項 縣會議費 金六百九拾圓九拾六錢

第五款 衛生及病院費 金千圓

第三項 福井病院費 金千圓

第六款 教育費 金千八百五拾圓

第一項 尋常師範學校費 金千五百圓

第二項 尋常中學校費 金三百五拾圓

第十四款 縣廳舍修繕費 金九百圓

第一項 修繕費 金九百圓

第十六款 縣監獄修繕費 金八百圓

第一項 修繕費 金八百圓

第十八款 財產費 金六拾六圓

第一項 維持費 金六拾六圓

第十九款 豫備費 金四百拾四圓四錢壹厘

第一項 豫備費 金四百拾四圓四錢壹厘

經常部合計金壹萬三千貳百三拾壹圓拾八錢五厘

臨時部

- 第一款 土木費 金百八拾圓
 - 第一項 道路橋梁費 金百八拾圓
 - 第二款 市町村土木補助費 金六千七百三拾四圓貳拾錢四厘
 - 第一項 道路橋梁費補助 金貳千五拾三圓四拾八錢三厘
 - 第二項 治水堤防費補助 金四千六百八拾圓七拾貳錢壹厘
 - 第四款 救育費 金三千五百圓
 - 第一項 尋常師範學校費 金三千五百圓
 - 第六款 縣廳舍建築費 金六百圓
 - 第一項 建築費 金六百圓
 - 第七款 縣監獄建築費 金千三百圓
 - 第一項 建築費 金千三百圓
- 臨時部合計金壹萬貳千三百拾四圓貳拾錢四厘
歲出總計金貳萬五千五百四拾五圓三拾八錢九厘

○縣令第八十號 明治廿四年十二月九日

明治二十四年度縣歲入追加地租割戶數割納期限左之通相定

一追加地租割戶數割

廿五年一月十五日ヨリ
全三十一日限

○縣令第六十七號 明治廿四年十二月九日

郡市

本年三月縣令第十八號縣稅徵收取扱順序第五號様式中但書督促令狀發付後収入トアルヲ滯納報告后収入ト更正ス

○縣令第八十四號 明治廿四年十二月廿三日

明治廿五年度本縣歲入豫算地租割戶數割通常縣會ノ議決ヲ經左ノ課率ニ依リ之ヲ課ス

- 一市地租壹圓ニ付 金貳拾壹錢六厘
- 一郡地租壹圓ニ付 金貳拾四錢九厘
- 一市戶數壹戶ニ付 金四拾八錢貳厘
- 一郡戶數壹戶ニ付 金五拾六錢貳厘

明治廿四年

○告示第七十四號 明治廿四年十二月廿三日

通常縣會ノ議決ヲ經テ明治二十五年本縣歲入歲出豫算左ノ通り

明治二十五年本縣歲入歲出豫算

歲入

經常部

第一款地租 金拾四萬八千七百四拾九圓貳拾六錢八厘

內 郡收入金壹萬九千五百七拾九圓拾五錢九厘

市郡收入金拾貳萬九千七百七拾圓拾錢九厘

第一款地租 金拾四萬八千七百四拾九圓貳拾六錢八厘

內 郡收入金壹萬九千五百七拾九圓拾五錢九厘

但本年度地租豫算金五拾九萬三千三百七圓八拾四錢

地租金壹圓二付金三錢三厘

市郡收入金拾貳萬九千七百七拾圓拾錢九厘

但本年度地租豫算金五拾九萬八千九百七拾六錢三厘

地租金壹圓二付金貳拾壹錢六厘

第二款營業稅 金三萬四千百拾三圓貳拾貳錢

第一款商業稅 金貳萬八千三百六拾七圓六拾貳錢

第二款工業稅 金五千七百四拾五圓六拾錢

第三款雜種稅 金貳萬千拾壹圓三拾四錢

第一項料理屋稅 金九百六拾八圓八拾六錢

第二項飲食店稅 金千七百貳拾五圓拾八錢

第三項湯屋稅 金三百貳拾八圓九錢

第四項理髮人稅 金貳百貳拾三圓貳拾錢

第五項傭人請宿稅 金三圓七拾八錢

第六項遊藝師匠稅 金三拾三圓拾五錢

第七項遊藝稼人稅 金五百三拾八圓五錢

第八項相撲稅 金貳拾六圓四拾錢

第九項俳優稅 金貳百三拾貳圓五拾錢

第十項藝妓稅 金七千五拾三圓七拾八錢

第十一項市場稅 金八百四拾八圓七拾九錢

第十二項演劇稅 金六百貳拾圓九拾六錢

第十三項興行稅 金六百九圓七拾錢

明治廿四年

第十四項	遊覽所稅	金貳拾五圓七拾六錢
第十五項	遊技場稅	金三拾壹圓貳拾九錢
第十六項	人寄席稅	金九拾貳圓
第十七項	船稅	金千貳拾圓
第十八項	車稅	金三千八百貳拾四圓貳拾八錢
第十九項	水車稅	金六百三拾壹圓三拾七錢
第二十項	乘馬稅	金七拾貳圓
第二十一項	屠畜稅	金五百四拾六圓四拾錢
第二十二項	漁業稅	金千五百拾八圓五拾錢
第二十三項	採藥稅	金拾九圓
第二十四項	捕鳥稅	金拾八圓三拾錢
第四款 戶數	割	金六萬四千百貳拾八圓六錢貳厘
內 郡收入金八千五百九圓六拾錢		
市郡收入金五萬五千六百拾八圓四拾六錢貳厘		
第一項 戶數	割	金六萬四千百貳拾八圓六錢貳厘

內 郡收入金八千五百九圓六拾錢		
但二十四年一月調總戶數拾萬六千三百七十戶壹月二付金八錢		
市郡收入金五萬五千六百拾八圓四拾六錢貳厘		
但二十四年一月調總戶數拾壹萬五千三百九拾壹月壹月二付金四拾八錢二厘		
第五款 財產收入	金九拾七圓八拾六錢	
內 郡收入金〇		
市郡收入金九拾七圓八拾六錢		
第一項 不動產收入	金三拾七圓三拾八錢	
內 郡收入金〇		
市郡收入金三拾七圓三拾八錢		
第二項 動產收入	金六拾圓四拾八錢	
內 郡收入金〇		
市郡收入金六拾圓四拾八錢		
第六款 國庫下渡金	金壹萬千四百九拾三圓五拾三錢貳厘	
內 郡收入金〇		
市郡收入金壹萬千四百九拾三圓五拾三錢貳厘		

第一項 警察費下渡金 金壹萬千四百七拾圓五拾三錢貳厘

內 郡收入金〇

市郡收入金壹萬千四百七拾圓五拾三錢貳厘

第二項 在縣監獄囚徒費 金貳拾三圓

內 郡收入金〇

市郡收入金貳拾三圓

第七款 雜 收 入 金貳萬拾四圓四拾六錢

內 郡收入金貳百八拾圓五拾六錢

市郡收入金壹萬九千七百三拾三圓九拾錢

第一項 請願巡査費納付金 金貳百七拾圓

內 郡收入金〇

市郡收入金貳百七拾圓

第二項 懲罰及沒收金 金貳拾八圓壹錢五厘

內 郡收入金〇

市郡收入金貳拾八圓壹錢五厘

第三項 授 業 料 金貳千五百三拾圓

內 郡收入金〇

市郡收入金貳千五百三拾圓

第四項 物品賣却代 金四千六百五拾四圓三拾三錢五厘

內 郡收入金拾壹圓拾錢

市郡收入金四千六百四拾三圓貳拾三錢五厘

第五項 囚徒工錢收入 金貳千五百拾三圓五拾錢

內 郡收入金〇

市郡收入金貳千五百拾三圓五拾錢

第六項 慈惠用物品代收 入 金五圓

內 郡收入金〇

市郡收入金五圓

第七項 賦 金 金九千四百六拾七圓

內 郡收入金〇

市郡收入金九千四百六拾七圓

第八項 手 薪 料 金百七拾四圓拾五錢

內 郡收入金〇

市郡收入金百七拾四圓拾五錢

第九項 師範學校生徒給費還納 金三拾圓

內 郡收入金〇

市郡收入金三拾圓

第十項 縣稅滯納處分費 金貳百六拾九圓四拾六錢

內 郡收入金貳百六拾九圓四拾六錢

市郡收入金〇

第十一項 在 監 諸 費 金七拾三圓

內 郡收入金〇

市郡收入金七拾三圓

經常部合計金貳拾九萬九千六百七圓七拾四錢貳厘

內 郡收入金貳萬八千三百六拾九圓三拾壹錢九厘

市郡收入金貳拾七萬千貳百三拾八圓四拾貳錢三厘

臨時部

第一款 繰 越 金 金貳百五拾壹圓拾四錢貳厘

內 郡收入金貳百五拾壹圓拾四錢貳厘

市郡收入金〇

第一項 前年度繰越金 金貳百五拾壹圓拾四錢貳厘

內 郡收入金貳百五拾壹圓拾四錢貳厘

市郡收入金〇

第二款 財產賣拂代 金九拾九圓八拾三錢

內 郡收入金〇

市郡收入金九拾九圓八拾三錢

第一項 不動產賣拂代 金九拾九圓八拾三錢

內 郡收入金〇

市郡收入金九拾九圓八拾三錢

臨時部合計金三百五拾圓九拾七錢貳厘

內 郡收入金貳百五拾壹圓拾四錢貳厘
市郡收入金九拾九圓八拾三錢

歲入總計金貳拾九萬九千九百五拾八圓七拾壹錢四厘
內 郡收入金貳萬八千六百貳拾圓四拾六錢壹厘
市郡收入金貳拾七萬三千三百三拾八圓貳拾五錢三厘

歲出

經常部

第一款 警察 費 金六萬八千九百九拾壹錢壹厘

第一款 俸給及諸給 金四萬八千八百七拾貳圓貳錢六厘

第二款 廳 費 金壹萬六千貳百四拾七圓三拾八錢五厘

第三款 機 密 費 金貳千九百圓

第四款 警察廳舍修繕費 金六百七拾九圓

第五款 修 繕 費 金六百七拾九圓

第六款 土 木 費 金壹萬五千六百四拾七圓九錢四厘

第一項 道路橋梁費 金壹萬貳千四百拾貳圓五拾四錢九厘

第二項 治水堤防費 金百拾九圓四拾錢

第三項 港 灣 費 金千貳百九拾圓五拾三錢

第四項 測 量 費 金貳千九拾四圓六拾壹錢五厘

第四款 縣會議諸費 金三千九百九拾四圓五拾四錢

第一項 縣會議諸費 金貳千貳百七拾四圓貳拾貳錢

第二項 縣參事會諸費 金千七百貳拾圓三拾貳錢

第五款 衛 生 費 金貳千五百貳拾貳圓拾貳錢

第一項 衛生諸費 金五百四拾圓六拾五錢

第二項 檢 疫 費 金千九百八拾壹圓四拾七錢

第六款 教 育 費 金貳萬貳千五百五拾八圓六拾壹錢九厘

第一項 尋常師範學校費 金壹萬貳千七百六圓九拾五錢六厘

第二項 尋常中學校費 金七千四百三拾壹圓五拾六錢三厘

第三項 高等女學校費 金千五百七拾壹圓六拾錢

第四項 學事諸費 金四百四拾八圓五拾錢

明治廿四年

- 第七款 那廳舍修繕費 金五百四拾四圓
- 第一項 修繕費 金五百四拾四圓
- 第八款 郡吏員給料旅費及廳中諸費 金貳萬七千四百拾壹圓三拾九錢
- 第一項 俸給及諸給 金壹萬九千八百拾圓拾貳錢
- 第二項 廳費 金七千六百壹圓貳拾七錢
- 第九款 救育費 金四百四拾五圓七拾五錢
- 第一項 救助費 金四百四拾五圓七拾五錢
- 第十款 難破船諸費 金五圓
- 第一項 難破船費 金五圓
- 第十一款 諸達書及揭示諸費 金千八拾貳圓
- 第一項 令達諸費 金千八拾貳圓
- 第十二款 勸業費 金千四百五拾五圓四拾三錢
- 第一項 勸業會費 金五百六拾壹圓七拾五錢
- 第二項 勸業諸費 金八百九拾三圓六拾八錢
- 第十三款 縣稅取扱費 金四千九百四拾貳圓六拾貳錢貳厘

- 第一項 徵收費 金四千七百貳圓六拾貳錢貳厘
- 第二項 金庫諸費 金貳百四拾圓
- 第十四款 縣廳舍修繕費 金三百圓
- 第一項 修繕費 金三百圓
- 第十五款 縣監獄費 金貳萬九千五百八拾四圓六拾六錢
- 第一項 俸給及諸給 金壹萬五百九拾壹圓九拾四錢
- 第二項 廳費 金貳千六百七拾貳圓拾錢
- 第三項 在監人諸費 金壹萬三千七百貳拾圓六拾貳錢
- 第四項 工業諸費 金貳千六百圓
- 第十六款 縣監獄修繕費 金六百六拾五圓四拾四錢
- 第一項 修繕費 金六百六拾五圓四拾四錢
- 第十七款 衆議院議員選舉費 金五拾圓貳拾八錢
- 第一項 選舉費 金五拾圓貳拾八錢
- 第十八款 縣吏員費 金五千七百三拾圓
- 第一項 吏員費 金五千七百三拾圓

明治廿四年

- 第十九款 豫備費 金貳千七百九拾貳圓三拾三錢
 - 內郡 負 撥 金貳百六拾九圓七錢壹厘
 - 內市 那 負 撥 金貳千五百貳拾三圓貳拾五錢九厘
- 第一款 豫備費 金貳千七百九拾貳圓三拾三錢
 - 內郡 那 負 撥 金貳百六拾九圓七錢壹厘
 - 內市 那 負 撥 金貳千五百貳拾三圓貳拾五錢九厘
- 經常部合計金拾八萬八千貳拾九圓六拾八錢六厘
 - 內郡 負 撥 金貳萬八千貳百貳拾四圓四拾六錢壹厘
 - 內市 那 負 撥 金拾五萬九千八百五圓貳拾貳錢五厘
- 臨時部
- 第一款 警察廳舍建築費 金百貳拾四圓七拾八錢
 - 第一項 建築費 金百貳拾四圓七拾八錢
- 第二款 土木費 金六萬四千六百九拾七圓六拾壹錢
 - 第一項 道路橋梁費 金六萬四千六百九拾七圓六拾壹錢
- 第三款 市町村土木補助費金四萬千八百七拾七圓拾五錢八厘
 - 第一項 道路橋梁費補助 金壹萬千六百七拾壹圓五拾六錢貳厘
 - 第二項 治水堤防費補助 金三萬圓
 - 第三項 港灣費補助 金貳百五圓五拾九錢六厘

- 第四款 縣會議諸費 金貳百五拾圓
 - 第一項 縣會議費 金貳百五拾圓
- 第五款 教育費 金千五百五拾壹圓
 - 第一項 建築費 金千五百五拾壹圓
- 第六款 郡廳舍建築費 金三百九拾六圓
 - 第一項 建築費 金三百九拾六圓
- 第七款 諸達書及揭示諸費 金拾五圓五拾錢
 - 第一項 揭示場建築費 金拾五圓五拾錢
- 第八款 勸業費 金千五百圓
 - 第一項 勸業諸費 金千五百圓
- 第九款 縣廳舍建築費 金五拾圓
 - 第一項 建築費 金五拾圓
- 第十款 縣監獄建築費 金千四百拾九圓五拾錢
 - 第一項 建築費 金千四百拾九圓五拾錢
- 第十一款 縣吏員費 金四拾七圓四拾八錢

明治廿四年

第一項 委員 費 金四拾七圓四拾八錢

臨時部合計金拾壹萬千九百貳拾九圓貳錢八厘

內郡 負 攤 金三百九拾六圓

內市 郡 負 攤 金拾壹萬千五百三拾三圓貳錢八厘

歲出總計金貳拾九萬九千九百五拾八圓七拾壹錢四厘

內郡 負 攤 金貳萬八千六百貳拾圓四拾六錢壹厘

內市 郡 負 攤 金貳拾七萬三千三百三拾八圓貳拾五錢三厘

○縣令第八十五號 明治二十四年十二月二十四日

明治廿五年度營業稅雜種稅課目課額通常縣會ノ決議ヲ經左ノ通リ相定ム

營業稅雜種稅課目課額

營業稅

商業

土		一等	二等	三等
甲	乙	小	武生	勝山
福井	敦賀	武生	武生	勝山
津內ヲ除ク	三國內瀨谷、沙見、三國浦ヲ除ク	武生內大門河原、上市、北府平出ヲ除ク	武生	勝山
普通額	普通額	普通額	普通額	普通額
金三圓六拾六錢	金三圓四拾錢	金三圓六錢	金貳圓五拾五錢	金貳圓五拾五錢

明治廿四年

地		四等	五等	六等	七等
大野、鯖江、津內、栗田部、三島、丸岡內、西瓜屋ヲ除ク	高濱、遠敷、熊川、早瀬、三方、木田地方、金津、三國、內沙見、瀨谷、太良、舟津	田中々々、溫泉場區域	武生、內上市街況ヲナスモノ、常入、內武生、接續ノモノ、竹原、內小濱接續ノモノ、丸岡ノ內一本田、一本田中、里丸岡、猪爪、西瓜屋	和田、本郷、港、北邊屋、小松原、新小松原、北竹原、內街況ヲナスモノ、河原市、佐柿、正田、大比田、鯖波、河野、松森、今庄、武生、內大門河原街況ヲナスモノ	上鯖江、長泉寺、今立郡横越、中野ノ內横越接續ノモノ、野岡(字戶板居住ノモノヲ除ク)、南北中津山、內野岡、接續ノモノ、梅浦、丹生郡、內宿浦、新保浦、織田、茶崎、蒲生、西田中內郡、內西田中接續ノモノ、淺水、淺水二日町、東郷二ヶ、小路、安原、松岡、稻多、古市、坂井郡宿浦、砂子坂、泥原新保、米ヶ脇、安島、崎浦、吉崎、花堂
普通額	普通額	普通額	普通額	普通額	普通額
金壹圓九拾六錢	金壹圓四拾五錢	金八拾五錢	金六拾錢	金六拾錢	以上列記外ノ各地

牛	全	壹圓
馬	全	五拾錢
豚	全	三拾錢
漁業		
海湖漁		貳拾五錢
河川漁		貳拾錢
築	一ヶ所ニ付 九頭龍川 真名川、日野川、	貳拾圓
網	一ヶ所ニ付 九頭龍川	拾五圓
採	一ヶ所ニ付 九頭龍川 真名川、日野川、足羽川	拾貳圓
捕	鳥	拾錢

○縣令第八十六號 明治廿四年十二月廿四日

縣稅賦課法通常縣會ノ議決ヲ經左ノ通改正シ明治廿五年四月一日ヨリ施行ス

縣稅賦課法

第一章 總則

第一條 課稅ノ前納ニ係ルモノハ義務ノ變更ニ依リ稅額減少スルコトアルモ其既納額ハ之ヲ還付セス又納稅義務一時消滅シ一納期內再ヒ同義務ヲ生シタルモノハ其前納期限ノ終迄納稅セザルモノトス

第二條 月稅ヲ納ムル營業者ニシテ開業一ヶ月內ニ廢業スル者ハ日割ヲ以テ徵收ス

第三條 納期後新ニ納稅義務ノ起リタルモノハ其翌月十日限リ其納期內ノ稅金ヲ前納スヘシ

納期以前納稅義務ノ消滅シタルモノハ其稅金ヲ即納スヘシ

第四條 普通課額ヲ定メタル納稅者ニシテ其市町村會ニ於テ等級課額既定以後新ニ納稅義務ノ起リタル者又ハ納期前他市町村若クハ等級ノ異ナル土地ヨリ轉住シタル者ハ其年度中普通課額ニ依テ徵收ス

第五條 普通課額ヲ定メタルモノニ對スル臨時若クハ追加課稅ハ通常課稅ノ賦課額ヲ率トシ各人各個ノ稅額ヲ算定シテ之ヲ賦課ス

第六條 納稅者出稼又ハ旅行ヲ爲サントスル者ハ原住地ニ相當ノ代人ヲ定メ置キ不在中代人ヨリ納稅セシムヘシ但代人ノ住所氏名ハ豫メ市町村長ヘ届置シヘシ

第七條 納期中他市町村ヘ轉住スルモノハ原住地ニ於テ納稅スヘシ

第八條 納稅者若クハ課税ノ物件非常災害ヲ被リ又ハ特別ノ事情アルモノニ限リ其情願ニ依リ審査ノ上減税免稅若クハ延納ヲ許スコトアルヘシ

第九條 脫稅者他日發覺シ其税金ヲ追徵スルモノアルハ該逋稅額〔普通額ヲ定メタル〕モノハ其額ニ據ル〔モ〕一時ニ徵收ス

第二章 戶數割

第十條 戶數割ハ每戶ノ普通課額ヲ定メ更ニ各市町村會ニ於テ每戶ノ等級ヲ設ケ其課額ヲ議定シテ之ヲ賦課ス但市町村會ニ於テ課額議定ノ際其市町村每戶普通課額ノ總額ヲ増減スルヲ得ス

前項ノ議決ハ其納期五十日以前ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十一條 戶數割ハ甲乙同居スルモ其經濟ヲ異ニシ獨立ノ實アルモノハ各別ニ課税ス

第三章 營業稅 雜稅

第十二條 營業稅雜稅稅ヲ納ムヘキモノ〔第十六條ニ掲テ〕ハ左ノ離形ニ依リ各自看板ヲ製シ〔モ〕郡市役所ノ檢印ヲ受ケ之ヲ戶外ニ掲クヘシ但他ノ規則等ニ依リ看板ヲ掲クルモノハ此限ニアラス

業 目

何郡市何町村大字番地
何之
誰

縦 三 尺

第十三條 行商〔他管ハ出ル者〕職工、工業者使役傭人、寫眞師、理髮人、遊藝師匠、遊藝稼人、相撲トモ、俳優、藝妓、辯問ヲ營シ乘馬ヲ所有シ及捕鳥ヲ爲スモノハ郡市役所ニ申出鑑札ヲ受ケ之ヲ携帯スヘシ

第十四條 納稅者轉業若クハ身上ニ異動ヲ生シタルトキハ郡市役所ニ届出看板ハ更正シ鑑札ハ野換ヲ請フヘシ

廢業死亡等ノ節ハ看板ハ消印ヲ請ヒ鑑札ハ返納スヘシ

第十五條 土地ニ據リ普通課額ヲ定メタルモノハ更ニ各市町村會ニ於テ各人ノ賣上金高若クハ收得金高ヲ調査シ尙其營業ノ實況ニ依リ等級ヲ設ケ其課額ヲ議定シテ之ヲ賦課ス但市町村會ニ於テ課額議定ノ際其地各營業者普通課額ノ總額ヲ増減スルヲ得ス前項ノ議決ハ其納期五十日以前ニ於テ之ヲ爲スヘシ

一地内ニ同業者ナキモノハ直チニ其普通課額ヲ課ス
營業者僅少ノ土地ニシテ二人以上ノ同業者アルモ別ニ等級ヲ付スルノ必要ナシト認ルモ
ノハ町村會ノ議決ニ依リ其普通課額ヲ課スルヲ得

第十六條 一町村内ノ各地等級相全シキモノハ町村會ノ決議ニ依リ各地通シテ其等級ヲ附
スルコトヲ得

市町村會ニ於テ納稅者ノ課額議定ノ際及課額既定以後代替リ其他名義ヲ異ニスルモ其資
本ヲ以テ同業ヲ營ムモノハ前營業者ノ課額ニ依テ徵收ス

課額既定以後一時廢業シテ再ヒ同業ヲ營ムモノハ其既定ノ課額ニ依テ徵收
ス

第十七條 紺屋使用ノ瓶、使役傭人、水車ノ臼、數等時々増減アル者ハ増減ノ都度之ヲ郡市
役所へ届出ヘシ其増加ニ係ル税金ハ翌月分ヨリ徵收ス

第十八條 支店ヲ設ケルモノハ本支店各別ニ課稅ス

第十九條 工業者並ニ職工ニシテ其製造品ノミテ販賣スルモノハ其工業稅ト該地ノ商業
課額ト對比シ其多キ方ニ依テ課稅ス
其製造品ノ外他ノ物品ヲ混同販賣スルモノハ各別ニ課稅ス

職工ニシテ工業者ニ僱使セラレ、者ニハ別ニ課稅セズ

第二十條 飲食店ニシテ其物品ヲ行商シ及ヒ商店ニシテ其物品ヲ飲食セシムルモノハ其
其稅額ノ多キ方ニ依テ課稅ス

第二十一條 紺屋ト染物屋ト兼スル者ハ其稅額ノ多キ方ニ依テ課稅ス

第二十二條 來客ノ需メニ應ニ料理ヲ供シ其代價ヲ受クルモノハ料理屋稅ヲ課ス

第二十三條 遊藝師匠藝遊稼人ニシテ單ニ其業ヲ營ムモノハ甲稅ヲ課シ客ノ招キニ應ニ謝
義ヲ受クルモノハ乙稅ヲ課ス

一 時限リ遊藝稼人ノ業ヲ營ムモノハ丙稅ヲ課ス

第二十四條 飲食店ニシテ僅少ノ物品ヲ販賣スルモノハ別ニ商業稅ヲ課サス

第二十五條 藝妓ト遊藝師匠又ハ遊藝稼人ト互ニ相兼ルモノハ其稅額ノ多キ方ニ依テ課稅
ス

第二十六條 人寄席ニ於テ演スル諸興業ニハ別ニ課稅セズ但他人其席ヲ借受興行スルモノ
ハ此限リニアラス

第二十七條 演劇諸興行遊覽所遊技場(場所ヲ定メ)臨時市場及丙稅ヲ課スル遊藝稼人ハ其
營業日數ヲ郡市役所ニ届出税金ヲ前納スヘシ

營業日數ヲ伸縮シ又ハ木戸錢場代等ヲ増減シタルトキハ亦之ヲ届出ヘシ其過納金ハ下戻
シ不足金ハ追徴スヘシ

第二十八條 屠畜ハ屠殺ノ都度獸類ノ種類及ヒ頭數調査ヲ添ヘ郡市役所ヘ届出其税金ヲ即
納スヘシ

第二十九條 漁業採藻稅ノ賦課方法ハ別ニ定ムル規則ニ依ル

郡市町村吏員職務 市町村條例

○乙第百廿四號 明治十四年八月二日

郡役所

郡長へ委任ノ事務上ノリトモ官院省使他府縣へ對シ直ニ往答スル義ハ不相成候條往答スヘキ事件有之節ハ其旨詳細申出ヘシ此旨相違候事

○乙第百四十一號 明治十四年九月一日

郡役所

郡長事務受渡規則別冊ノ通相定候條此旨相違候事

(別冊)

郡長事務受渡規則

第一條 郡長轉任又ハ免職等ノ節ハ先前ヨリ繼送リノ書類ヲ始メ現今取扱ノ諸帳簿其他金錢物品書籍等總テ別紙齊式ニ做ヒ目錄ヲ添ヘ新任舊官互ニ受渡シテナスヘシ

第二條 奉職中ノ事務何等ノ件ニ限ラズ既ニ取掛リシモノハ勿論未タ取掛ラサル分ト雖モ豫テ見込アルモノ又ハ在來ノ書類ノミニテハ事由解シ難キモノ等ハ詳細ノ演述書ヲ添ヘ引渡スヘシ

國稅ニ關シテハ明治廿二年勅令第六十三號ニ依ル

第三條 事務ノ受渡シハ即日執行スヘシト雖モ事故有之難行届モノハ辭令拜受ノ翌日ヨリ一週間ヲ限リ悉皆引渡スヘシ若シ事故アリテ猶遲延スルトキハ新任者ヨリ其旨具狀スヘシ

第四條 郡長轉免等ノ節直ニ新任ノ者無之歟又ハ新任者有之モ疾病事故等アリテ赴任若シハ出勤スルヲ得ヘカクナル等ノ場合ニ於テハ上席書記ニテ受渡シヲナスヘシ

第五條 國稅地方稅金其外諸上納未濟或ハ徵集中ニ係ル分共其金員人名等夫々帳簿ニ照合シ受渡シヲナスヘシ

第六條 學校補助金其他人民ヘ下付スヘキ金員ニシテ未ダ下付セサル分ハ前條ノ手續ヲ以テ受渡シヲナスヘシ

第七條 引渡シ事務ノ中其處分成規ニ乘戻スルカ或ハ後來ノ弊害トナリ引受難キ件々ハ其事由ヲ詳ニ伺出ツヘシ

第八條 受渡濟ノ上ハ速ニ其旨新任者ヨリ届出ツヘシ

諸帳簿引渡目錄書式

一何帳簿 何冊

一何仕譯或ハ明細書 何冊

一何綴 何冊

一何圖 何枚

合計何冊何枚

右之通引渡候也

年號月日 姓名印

何郡長姓名殿

右之通受取候也

年號月日 何郡長姓名印

姓名殿

右之外書籍物品等總テ目錄ハ右書式ニ準スヘシ

金錢引渡目錄書式

一金何程 何年第何期何稅

外金何程上納濟 郡長給料

一金何程 書記給料

一金何程

一金何程

應中費

一金何程

何々々

通計金何程

右ハ拙者在勤中何年何税ノ内上納既済并ニ未済ノ分及當役所經費殘金共書面ノ通引渡候也

宛名等前ノ如シ

右ノ外引繼シヘキ金數等有之トキハ總テ右ニ準シ一廉毎ニ掲載スヘシ

演述書文例

今般拙者轉任ニ付勤務中ノ事務引渡ニ付左ニ及演述候

一當所轄ノ戸數ハ何軒人口ハ何人反別何程地勢大概田野平坦ニシテ土地肥沃運輸便人民勉怠物産多風俗厚等云々 山岳圍繞ニシテ土地瘠薄運輸便人民強

一當役所經費勘定帳ノ儀ハ何年何月迄決算濟何年何月ヨリ何月迄ノ分ハ勘定帳進達濟ミナリト雖モ未タ決算濟證書下付無之何年何月以後ノ分ハ未タ差出サス等云々

一國稅等ノ儀ハ何年何月迄ノ分皆納何年何月以後ノ分ハ未タ若干未納有之ニ付己ニ不納處分若手云々

一何用水組合ハ何村外何ヶ村ニシテ從來何々ノ慣例云々

一礦山ハ何村ニ何坑アリ何村ハ何坑試掘出願中又何村ニ於テハ頃日何々ヲ發見セリ云々

一何村何某ハ何々ノ工業會社創立ノ企アリ將來ノ見込云々

一何々

右之件々及演述候也

年月日

姓名印

何部長 姓名 殿

右之外總テ事務伺中及踐行中ノ分ハ其實況ヲ記載スヘシ

○丙第七十五號 明治十八年七月廿三日

郡役所 戶長役場

客年八月本縣丙第八十七號達郡役所筆生并ニ戶長役場用掛懲戒規則左ノ通改定候條此旨相達候事

但客年八月號外郡長及戶長ヘノ達ハ自ラ消滅ト心得ヘシ

筆生及用掛以下懲戒規則

第一條 筆生及用掛職務上過失アレハ本廳ニ於テ之ヲ處分シ備以下ハ處分書ヲ發シ郡長又

戶長役場用掛ニ係ル件ハ市制施行ニシテ消滅

明治十八年丙第八十八號達ヲ以テ改訂同年丙第九十七號達及

郡市町村吏員職務市町村條例 明治十八年

廿一年縣達第六十五號(雜部ニ出ス)參看

ハ戸長ヲシテ之ヲ執行セシムヘシ

第二條 懲戒ハ分ツテ譴責罰俸免職ノ三種トス

第三條 罰俸ハ一ヶ月十分ノ一ヨリ少カラス三ヶ月ヨリ多カラサル俸給ヲ奪フ

明治十八年丙第八十八號達ヲ以テ但書改正

但一ヶ月俸半額迄ノ罰俸ハ其月又ハ翌月ノ俸給ニテ一回ニ領収シ其以上ハ毎月俸給ノ半額ヲ領収スヘシ尤モ町村費ヲ以テ俸給ニ充ツルモノ、罰俸ハ戸長ニ於テ之ヲ領収シ其町村費ノ雜収入トナスヘシ

○丙第八十八號 明治十八年八月廿八日

郡役所 戸長役場

本年七月本縣丙第七十五號達筆生及用掛以下懲戒規則第一條及第三條但書左ノ通改正候條此旨相達候事

第一條 筆生及用掛以下職務上過失アルトキハ其進退伺ハ縣令宛ニテ郡長又ハ戸長ニ差出

ノ郡戸長ハ之ニ意見ヲ附シ本廳ニ稟申スヘシ本廳ハ過失ノ輕重ヲ計リ處分方ヲ郡戸長ニ示シ之ヲ執行セシムヘシ

第三條 、、、、、、、、

但一ヶ月俸半額迄ノ罰俸ハ其月又ハ翌月ノ俸給ニテ一回ニ領収シ其以上ハ毎月俸給ノ

明治廿一年縣達第六十五號(雜部ニ出ス)參看

半額ヲ領収シ數滿ナラ本廳ニ送納スヘシ尤モ町村費ヲ以テ俸給ニ充ツルモノ、罰俸ハ其町村費ノ雜収入トナスヘシ

○丙第九十七號 明治十八年九月二十四日

郡役所 戸長役場

本年八月本縣丙第八十八號達第一條ノ筆生用掛以下進退伺書并郡戸長ノ稟申書ハ各正副貳通ニ差出スヘシ此旨相達候事

但郡戸長ノ稟申書ニ本人ノ給額ヲ記載スヘシ

○訓第十一號 明治十九年三月廿六日

郡長 戸長

戸長役場備置キノ戸籍及諸公證帳簿土地臺帳等凡ソ重要ナル諸帳簿書類ハ平素嚴重ニ管守スヘキハ勿論ニ候處中ニハ人民ノ謄寫照合披見等ヲ請フモノアル時ハ容易ニ之ヲ貸渡シ長其他主務員ノ面前ニ隔離セル場所ニ持チ行キ謄寫披見セシムル向キモ有之趣相聞ヘ候右ハ重要ナル書類ヲ輕忽ニ取扱フモノニシテ若シ奸猾ノ徒アリ披見謄寫ノ際ニ於テ竊ニ原書變改塗抹シ他日詐偽等ノ奸計ヲ爲スモ亦得テ測ル可ラズ甚ク不取締ノ義ニ候條自今管守方嚴密ニ注意シ照合披見ヲ請フモノアル時ハ戸長若シハ用掛ニ於テ取調ヘノ上指示シ其謄寫

ヲ請フモノアル時ハ所用ノ事由ヲ取糾シ眞ニ必要アルモノニ限リ戸長若クハ主務者ノ面前ニ於テ騰寫スルヲ差許シ必ラス隔離セル場所へ提携セシムル等不都合ノ義一切無之樣嚴重ニ取扱フヘシ此旨訓示候事

○訓第二十四號 明治十九年六月十九日

郡長 戸長

人民ヨリ差出ス書類中間々其完全ナラサルヨリ之ヲ受理セス再三訂正セシムル等ノ爲メ事遅緩ニ涉リ或ハ出頭者ナシテ空シク時間ヲ消過セシメ若シクハ受付擔任ノ者ニ於テ威權ケ間敷舉動等有之候様ニテハ甚不都合ニ候條受付書類中後來憑據トナルヘキ緊要ノモノハ格別一時ノ取扱ニ係ル書面ニシテ其要旨ヲ徴スルニ足リ他ニ支障無キモノハ些少ノ誤脱アルモ可成其儘受理シ遲滞無ク之ヲ處理シ其出頭スル者ニ對シテハ殊ニ注意シ精々穩和懇切ニ取扱候條篤ク申付置時々之ニ注意スヘシ

右訓示ス

○達第十八號 明治十九年九月六日

郡役所

郡長ニ於テ便宜施行シテ後當廳へ報告スルヲ得ル事項ノ概目左ノ如ク

- 一 國稅地方稅備荒儲蓄金及町村費不納者處分ノ事
 - 二 逃亡死亡絶家ノ財産處分ノ事
 - 三 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
 - 四 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事
 - 五 河岸地借地檢査ノ事
 - 六 印紙賣捌願ノ事
 - 七 非常水害防禦ノ爲メ三等官林竹木伐採ノ事
 - 八 社寺什物取締ノ事
 - 九 地券書換願ノ事
 - 十 府縣社以下並寺院境內枯損木伐採及竹木栽培願ノ事
 - 十一 度量衡檢査ノ事
 - 十二 諸貸下金徵收處分ノ事
- 右ノ外法律命令ヲ以テ委任シ及特ニ分任スル條件

○告示第三十號 明治十九年九月廿二日

明治廿二年縣達第六十七號ヲ以テ本項中削除

明治廿四年縣達第五十九號ヲ以テ削除

明治廿二年縣達第六十七號ヲ以テ削除
明治十九年達第三十八號ヲ以テ削除

明治廿二年法律第十三號ニヨリ消滅

明治廿四年縣達第四十二號(社寺ノ部ニ出ス)ヲ以テ削除

法律命令ヲ以テ委任シ及特ニ分任スル條件ノ外郡長ニ於テ便宜施行シテ後當廳ニ報告スルヲ得ル事項ノ概目左ノ如シ

- 一 國稅地方稅備荒儲蓄金及町村費不納者處分ノ事
- 二 逃亡死亡絶家ノ財産處分ノ事
- 三 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
- 四 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事
- 五 河岸地借地地檢査ノ事
- 六 印紙賣捌願ノ事
- 七 非常水害防禦ノ爲メ三等官林竹木伐採ノ事
- 八 社寺什物取締ノ事
- 九 地券書換願ノ事
- 十 府縣社以下並寺院境内枯損木伐採及竹木栽培願ノ事
- 十一 度量衡檢査ノ事
- 十二 諸貸下金徵收處分ノ事

明治二十二年告示第七十三號ヲ以テ本項中削除

明治廿四年告示第百三十五號ヲ以テ削除

明治廿二年告示第七十三號ヲ以テ削除

明治十九年告示第三十六號ヲ以テ削除

明治廿二年法律第十三號ニヨリ消滅

明治廿四年縣達第四十二號(社寺ノ部ニ出ス)ニヨリ消滅

○達第三十六號 明治十九年十月一日 郡役所

郡役所印并ニ其課印寸法等左ノ通相定メ明治十四年四月丙第四號達ハ廢止ス
用材黃楊字體適宜但明瞭ナルヲ要ス

方一寸二分
福井縣 郡役所

方一寸
福井縣 郡役所

○達第三十八號 明治十九年十月八日 郡役所

本年九月六日達第十八號列記事項ノ内第七項非常水害防禦ノ爲メ三等官林竹木伐採ノ事トアルヲ删除シ以下順次項數ヲ繰リ上ク

○訓示第五十三號 明治十九年十月八日 郡長 戶長

行政事務ニ就キ疑義アルモノ等は迄戸長ヨリ當廳ニ伺出來リ候處自今其特ニ當廳ノ指揮ヲ請フヘキ明文アルモノ、外ハ本年七月勅令第五十四號地方官官制第四十一條ニ從ヒ郡長ニ伺出指揮ヲ受クヘキ義ト心得ヘシ

明治廿三年勅令第二百二十七條參看

郡長ニ於テ若シ猶ホ疑岐ニ涉ルモノアルトキハ速カニ之レカ事實理由ヲ具シ當廳ノ裁ヲ經タル上指揮ヲ爲スヘシ

○訓示第五十四號 明治十九年十月八日 郡長 戸長

戸長ヨリ郡長ニ對スル公文ハ上申體ノ文詞ヲ用ヒ郡書記其他諸裁判所各警察署分署監獄等ニ往復スル公文書ハ渾テ一般照會回答ノ文體ヲ用フヘキ義ト心得ヘシ

○告示第三十六號 明治十九年十月八日

本年九月廿二日告示第三十號列記事項ノ内第七項非常水害防禦ノ爲メ三等官林竹木伐採ノ事トアルヲ刪除シ以下順次項數ヲ操リ上シ

○縣達第二十二號 明治廿二年二月十九日 郡役所

郡役所事務ノ狀況等監査ヲ要スル時ハ自今臨時屬官ヲ出張セシムヘキニ付文書簿冊ノ檢閱等該出張員ヨリ要求若クハ協議スルコトアルハ渾テ差支ナキ様取計フヘシ

○縣達第三十號 明治廿二年四月一日 足羽郡 福井市

從前郡長ノ取扱ヒタル事務ハ市長ニ於テ明治十四年(九月)乙第四百四十一號達郡長事務受渡規則及明治十五年(三月)丙第二十三號達戸長事務受渡規則ニ依準シ其引繼ヲ受クヘシ但戸長事務受渡規則第三條第七條ノ場合ハ當廳ニ申出ヘク其第八條ノ届出モ亦同シ市役所開廳ノ月日ハ當廳ニ報告スヘシ

○縣達第三十一號 明治廿二年四月一日 郡町村

從前戸長ノ取扱ヒタル事務ハ町村長ニ於テ明治十五年(三月)丙第二十三號達戸長事務受渡規則ニ依準シ其引繼ヲ受クヘシ

町村役場開廳ノ月日ハ當廳ニ報告スヘシ

○縣達第三十二號 明治廿二年四月一日 郡市町村

市役所町村役場ハ左ノ雛形ノ標札ヲ掲出スヘシ



福井縣某市役所

□ 某郡某町(村)役場

又ハ
某郡某村組合役場

○縣達第三十三號 明治廿二年四月一日

郡市町村

市役所町村役場並市町村長助役收入役及市參事會員ノ印章ハ左ノ雛形ニ依リ調製スヘシ

印章雛形

朱字

方一寸二分

方七分

方六分

方六分

方六分

福井縣
某市役所

某市長
某市

某市助役
某

某市參事會員
某

某市收入役
某

方一寸

方六分

方五分

方五分

某郡
某町(村)役場

又ハ
某郡
某町(村)長

又ハ
某町(村)助役
某

又ハ
某町(村)收入役
某

又ハ
某町(村)收入役
某

前項ノ印章ヲ調製シタルトキハ市ハ當廳町村ハ郡役所ヘ左ノ雛形ノ印章ヲ差出スヘシ爾後

毀損其他事故ニ由リ改刻シタルトキモ亦同シ

印鑑雛形

用紙西ノ内

五寸

五寸

分八寸一

市役所印

某市役所

明治何年何月何日彫刻(改刻)

分二寸一

市長印

某市長

明治何年何月何日彫刻(改刻)

市助役以下之

分五寸一

町役場印

某郡某町(村)役場

明治何年何月何日彫刻(改刻)

寸一

町長印

某郡某町(村)長

明治何年何月何日彫刻(改刻)

町助役以下之

○縣達第三十四號 明治廿二年四月一日

郡市町村

市役所町村役場年中休暇日左ノ通り

一大祭祝日及日曜日

一月一日ヨリ三日迄及十二月二十九日ヨリ三十一日迄
前項ノ外土曜日ハ正午十二時限リ休暇

○縣達第三十八號 明治廿二年四月一日

郡町村 浦役場

明治十七年(九月)浦第九號達浦役場印雛形左ノ通り改正ス

方	福井縣何郡	組合町村ニ係ルトキハ	某町村
一	何 町	組合浦役場印ト彫刻スル	某町村
寸	浦役場印	モノトス	

○縣達第四十一號 明治廿二年四月一日

郡市町村

市役所町村役場ノ處務規程ハ市町村長ニ於テ之ヲ定メ市ハ當廳町村ハ郡役所ノ認可ヲ得テ施行スヘシ

○縣達第四十二號 明治廿二年四月一日

郡市

市制第六十四條第二項五及町村制第二百二十八條第一項ニ依リ市町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ

行ヒ及町村制第二百二十八條第二項ニ依リ懲戒裁判ヲ以テ町村吏員ヲ解職シタルトキハ其
ニ其顛末ヲ詳具シ報告スヘシ

○訓令第二十七號 明治二十二年四月一日

福井市

從前郡區長ノ處分又ハ取扱ニ係ル國政並縣政事務ハ別段ノ令達アルモノ、外自今總テ市長
ニ於テ掌理スヘキ義ト心得ヘシ

○訓令第二十八號 明治二十二年四月一日

郡市町村

從前戶長ノ取扱ニ係ル國政並縣政事務ハ自今總テ市町村長ニ於テ取扱フヘク其市町村事務
ニ對スル從前ノ命令モ亦他ノ法律命令ニ抵觸セサルモノハ市町村共ニ遵行スヘキ義ト心得
ヘシ

○訓令第三十號 明治廿二年四月一日

郡市町村

市制第二百二十一條第百二十二條町村制第二百五條第百二十六條ニ依リ內務大臣大藏大臣
ハ許可ヲ請フ爲メ差出ス書面ハ市ハ當廳町村ハ郡役所及ヒ當廳ヲ經由スヘキ義ト心得ヘシ

第一條 市町村長任期滿限其他事故ニ由リ更任ノ際ハ此規則ニ從ヒ事務受渡ヲ爲ス可シ
但舊任者死亡等ノ場合ニ於テハ市ハ代理ノ權アル參事會員町村ハ助役代テ其事ヲ擔任
スヘシ

第二條 諸帳簿書類并土地建物金穀物品等ハ總テ詳細ナル目錄又ハ仕譯書ヲ添ヘ新舊任者
互ニ受渡證書ヲ交付スヘシ

第三條 舊任者ハ當時履行中ノ事務ハ勿論未着手ノ件ト雖モ其見込アルモノ及ヒ單ニ在來
ノ書冊ノミニテ其事由ノ詳ナラザル件ハ精細ノ演說書ヲ以テ引渡スヘシ

第四條 事務ノ受渡ハ新任者就職ノ日ヨリ一週日以内ニ結了スヘシ若シ事故アリ遲延スル
キハ新舊任者連署ヲ以テ豫メ市ハ當廳町村ハ郡役所ヘ具狀シ指揮ヲ請フヘシ

第五條 事務受渡上ニ付新舊任者意見ヲ異ニスルキハ市ハ當廳町村ハ郡役所ヘ具申シ裁定
ヲ請フヘシ此場合ニ於テハ裁定ヲ得タル日ヨリ更ニ三日以内ニ受渡ヲ結了スヘシ若シ猶
此日限内ニ結了スヘカラサル事故アルキハ前條ノ例ニ依リ當該官廳ノ指揮ヲ請フヘシ

第六條 事務受渡結了ノ上ハ新任者ヨリ市ハ當廳町村ハ郡役所ヘ届出ヘシ

第七條 市制第六十九條第二項及第七十四條第二項町村制第六十九條第二項及第七十條第
二項ニ依リ市町村行政事務ノ一部又ハ市町村長管掌事務ノ一部ヲ分掌スル市參事會員若

シハ町村助役更任ノ際モ亦此規則ニ依リ其事務ノ受渡ヲ爲ス可シ但舊任者死亡等ノ場合
ニ於テハ市ハ市長町村ハ町村長代リテ其事ヲ擔任スヘシ

○縣達第九十一號 明治廿二年十一月四日 郡市町村
町村長助役市收入役退職若クハ死亡等ノ際ハ其時々當廳ヘ届出ツヘシ

○縣達第九十二號 明治二十二年十一月十四日 郡市町村
市制第六十九條第二項ニヨリ市參事會員ニ町村制第六十九條第二項第七十條第二項ニヨリ
助役ニ事務ヲ分掌セシメタルキハ其姓名及事件ヲ詳記シ當廳ヘ報告スヘシ

○訓令第二十二號 明治二十三年八月二十九日 郡市町村
市町村長及助役私事旅行等ノ爲メ公務ニ從事スルヲ得サルトキ市長助役ハ當廳ヘ町村長助
役ハ郡役所ヘ申出認可ヲ受クヘシ但公務ノ爲メ二日以上他ヘ旅行スルトキ又ハ親族ノ喪ニ
丁ルトキハ其旨届出ツヘシ

○縣達第五十二號 明治二十三年九月九日

郡

町村制第百十六條ノ許可及郡參事會ノ議決ヲ以テ町村組合ヲ爲サシメタルトキハ其組合町
村名并ニ全事件第百十八條ノ許可ヲ爲シタルトキハ其事由ヲ掲ケ時々報告スヘシ

○縣達第二十六號 明治二十四年四月十八日

郡

郡役所職務規程左ノ通改正ス

郡役所職務規程

第一條 郡長ハ郡書記及郡有給吏員ノ功過ヲ具狀ス

第二條 郡長ハ事務ノ須要ニ從ヒ俸給豫算定額内ニ於テ傭員ヲ使用スルコトヲ得但月給拾

圓以上ヲ支給セントスルトキハ具狀シテ允許ヲ請フヘシ

第三條 郡長ハ年末ニ慰勞手當豫算定額内ニ於テ勤勞アル傭員ヲ賞與スルコトヲ得

第四條 郡長ハ所部ノ傭員職務上過失アルトキハ其事狀ヲ具シ指揮ヲ得テ懲戒ノ事ヲ執行

ス

第五條 郡長所轄外(縣外トモ)ニ出張シ又ハ郡書記以下ヲ縣外ニ出張セシメントスルトキ

ハ豫シテ其事由ヲ具シテ允許ヲ請フヘシ但事急ニシテ經伺ノ暇ナキトキ及ヒ郡書記以下

ヲ所轄外ニ出張セシメントスルトキハ其事由ヲ具シ開申スヘシ

第六條 郡役所ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ便宜掛ヲ置キ其分掌ハ認可ヲ得テ適宜之ヲ定ム

ヘシ

第七條 郡書記ノ内一名若シクハ二名ヲシテ諸般ノ事務ニ參與審査セシムルコトヲ得

第八條 郡長ハ郡役所ノ職務細則ヲ設クルコトヲ得

○訓令第二十二號 明治二十四年四月二十九日

郡市町村

市町村ニ於テ火災水害ニ係ル警防ノ周到ヲ計ラシメ爲メ消防組水防組ヲ設置シ其組織等ハ
條例トシテ之ヲ規定スルヲ得就テハ右ノ組織及組員ノ選拔解除ハ市ニ在テハ參事會町村ニ

在テハ町村長ニテ取扱フヘキモノニ付其組織及施行ニ係ル緊要ノ事項ハ條例中ニ規定シ其
他ハ單ニ市町村會ノ議決ヲ以テ施行スヘシ但警防上ニ關スル取締方法ハ縣令第三十六號ノ
通心得ヘシ

○縣達第二十九號 明治二十四年四月三十日

郡市長

從來分任ノ條件自今左記ノ通更正候條便宜處分施行ノ後報告スヘシ

明治廿四年縣達第四
十年三號ヲ以テ附除
明治廿四年縣達第六
十三號ヲ以テ附除

- 一 郡書記備及有給ノ郡吏員私事旅行願ノ許否并ニ除服出務ヲ命スル事
- 一 借區試堀廢坑跡検査ノ事
- 一 内國難破船及漂流物ノ事
- 一 官有地ニアル民有建物賣買讓與書入質入證書ニ與印ノ事
- 一 官有地及不用ノ建物拜借願ニ係ルノ箇所検査ノ事
- 一 官地(街路ヲ除ク)ノ一時塵芥溜置願ノ許否并ニ禁止ノ事
- 一 地種地目誤謬引直願ニ係ル實地検査ノ事
- 但民有第一種中ノ地目誤謬ニシテ其地種ニ關係ヲ及ホカ、ルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 官有ノ社寺境内三ヶ月以内貸渡ノ事
- 一 水面埋立ニ關スル箇所検査ノ事
- 一 日本形五十石以上船舶測度検査ノ事
- 一 荒地奉還願ニ係ル地所検査ノ事
- 一 町村費及公共組合費又ハ私費支辨ニ係ル道路、橋梁、用惡水路、樋管、堰埭、溜池、新設變更願ノ箇所實查ノ事
- 但街路取締規則第七條一項ニ該ルモノハ此ノ限ニ在ラス

明治廿四年縣
達第五十一號
ヲ以テ本項及
次項トモ附除

明治二十四年縣達五
十七號參看

- 一 町村費及公共組合費又ハ私費支辨ニ係ル道路、橋梁、用惡水路、樋管、堰埭、溜池、ノ修繕ニ關スル事
- 但街路取締規則第七條一項及七項ニ該ルモノ并ニ工費償却ニ係ル者ハ此限ニ在ラス
- 一 道路橋梁修繕費ニ對シ地方稅補助ノ事
- 一 官有ノ堤塘溝渠川面路傍等ノ使用料徵收及下附ノ事
- 一 官有ノ道路堤塘ニ産スル木實其他收益アル生産物ノ公賣并ニ其ノ代金下附ニ關スル事
- 一 洪水防禦ノ事
- 一 地方稅支辨ニ係ル道路急破假修繕ノ事
- 一 用惡水配水ノ事
- 一 河川用惡水路ノ沿岸ニ生スル水利ニ障害アル竹木雜草等伐採ノ事
- 一 水車場興廢ノ事
- 但河身ニ關係アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 町村立小學校長及教員等ノ私事旅行ヲ許否及除服ヲ命スル事
- 一 學齡兒童就學猶豫ノ事
- 一 戶籍検査ノ事

明治廿四年條例第四十三號ヲ以テ改正

- 一 廢家廢嫡并ニ士族ノ戶主民籍編入及死亡跡相續人ナキ者家督相續延期ノ事
- 一 有子ノ寡婦相續又ハ后夫ヲ迎フル事
- 一 改名又ハ復姓ニ關スル事
- 一 失踪逃亡跡相續等ニ關スル事
- 一 棄兒迷兒ニ關スル事
- 一 死刑宣告榜示取扱ノ事
- 一 神道佛道ノ教師選舉等ノ節身上取調ニ關シ管長ハ照會應答ノ事
- 一 縣社境內ヘ制札建設ノ事
- 但禁獵ニ係ルモノハ此ノ限ニアラス
- 一 佛像ヲ他管ヘ持出シ又ハ他管ヨリ携帶開帳ニ關スル事
- 一 縣社以下社廢并ニ寺院佛堂等ノ修繕ニ關スル事
- 但舊様ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 祠官祠掌ノ旅行ニ關スル事
- 一 社寺境內ノ倒樹枯木處分ノ事
- 一 地租貸與ノ返納金徵收ノ事

右ノ外令達ヲ以テ分任スル條件

○告示第七十九號 明治二十四年四月三十日

郡市長ヘ分任ノ條件自今左記ノ通更正候ニ付右ニ關スル願届ハ郡市役所ヘ差出ス可シ

- 一 郡書記備及有給ノ郡吏員私事旅行願ノ許否并ニ除服出務ヲ命スル事
- 一 借區試掘廢坑跡検査ノ事
- 一 内國難破船及漂流物ノ事
- 一 官有地ニアル民有建物賣買讓與書入質入證書ニ奥印ノ事
- 一 官有地及不用ノ建物拜借願ニ係ルノ箇所検査ノ事
- 一 官地(街路ヲ除ク)ヘ一時塵芥溜置願ノ許否并ニ禁止ノ事
- 一 地種地目誤認引直願ニ係ル實地検査ノ事
- 但民有第一種中ノ地目誤認ニシテ其地種ニ關係ヲ及ホサ、ルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 官有ノ社寺境內三ヶ月以内貸渡ノ事
- 一 水面埋立ニ關スル箇所検査ノ事
- 一 日本形五十石以上船舶測度検査ノ事
- 一 荒地奉還願ニ係ル地所検査ノ事

明治廿四年告示第百五號ヲ以テ削除
明治廿四年告示第百五十七號ヲ以テ削除

明治廿四年告示第百十八號ヲ以テ本項及次項トモ削除

- 一 町村費及公共組合費又ハ私費支辨ニ係ル道路、橋梁、用惡水路、樋管、堰埭、溜池、新設變更ノ箇所實查ノ事
- 但街路取締規則第七條一項ニ該ルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 町村費及公共組合費又ハ私費支辨ニ係ル道路、橋梁、用惡水路、樋管、堰埭、溜池、ノ修繕ニ關スル事
- 但街路取締規則第七條一項及七項ニ該ルモノ并ニ工費償却ニ係ルモノハ此限ニ在ラス
- 一 道路橋梁修繕費ニ對シ地方稅補助ノ事
- 一 官有ノ堤塘溝渠川面路傍等ノ使用料徵收及下附ノ事
- 一 官有ノ道路堤塘ニ産スル木實其他收益アル生産物ノ公賣并ニ其代金下付ニ關スル事
- 一 洪水防禦ノ事
- 一 地方稅支辨ニ係ル道路急破假修繕ノ事
- 一 用惡水配水ノ事
- 一 河川用惡水路ノ沿岸ニ生スル水利ニ障害アル竹木雜草等伐採ノ事
- 一 水車場興廢ノ事
- 但河身ニ關係アルモノハ此ノ限ニ在ラス

明治廿四年告示第百廿八號ニ據テ

- 一 町村立小學校長及教員等ノ私事旅行ヲ許否シ及除服ヲ命スル事
- 一 學齡兒童就學猶豫ノ事
- 一 戶籍檢査ノ事
- 一 廢家廢嫡並ニ士族ノ戶主民籍編入及死亡跡相續人ナキ者家督相續延期ノ事
- 一 有子ノ寡婦相續又ハ后夫ヲ迎フル事
- 一 改名又ハ復姓ニ關スル事
- 一 失踪逃亡跡相續等ニ關スル事
- 一 棄兒迷兒ニ關スル事
- 一 死刑宣告榜示取扱ノ事
- 一 神道佛道ノ教師撰舉等ノ節身上取調ニ關シ管長ハ照會應答ノ事
- 一 縣社境內ニ制札建設ノ事
- 但禁獵ニ係ルモノハ此ノ限ニアラス
- 一 佛像ヲ他管ニ持出シ又ハ他管ヨリ携帶開帳ニ關スル事
- 一 縣社以下社殿并ニ寺院佛堂等ノ修繕ニ關スル事
- 但舊様ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラス

明治廿四年告示第百五號ヲ以テ改正

- 一 祠官祠掌ノ旅行ニ關スル事
- 一 社寺境内ノ倒樹枯木處分ノ事
- 一 地租貸與ノ返納金徴收ノ事
- 右ノ外令違テ以テ分任スル條件

○縣達第四十三號 明治二十四年六月十九日

郡市

本年四月縣達第二十九號委任條件中第八項ヲ取消シ第三十六項ヲ左ノ通改正ス

一 民有地社寺境内ノ倒樹枯木處分ノ事

○告示第百五號 明治二十四年六月十九日

本年四月告示第七十九號郡市長へ委任條件中第八項ヲ取消シ第三十六項ヲ左ノ通改正ス

一 民有地社寺境内ノ倒樹枯木處分ノ事

○縣達第五十一號 明治廿四年七月十八日

郡市長

本年縣達第二十九號分任條件中左ノ二項ヲ削除ス

一 官有ノ堤塘溝渠川面路傍等ノ使用料徴收及下付ノ事

一 官有ノ道路堤塘ニ産スル木實其他收益アル生産物ノ公賣並ニ其代金下付ニ關スル事

○告示第百十八號 明治二十四年七月十八日

本年告示第七十九號郡市長分任條件中左ノ二項ヲ削除ス

一 官有ノ堤塘溝渠川面路傍等ノ使用料徴收及下付ノ事

一 官有ノ道路堤塘ニ産スル木實其他收益アル生産物ノ公賣並ニ其代金下付ニ關スル事

○縣達第五十七號 明治二十四年八月十九日

郡市長

本年四月縣達第二十九號分任條件中第二十一項戶籍検査ノ事ハ市長へ分任セス

○告示第百二十八號 明治二十四年八月十九日

本年四月告示第七十九號郡市長へ分任條件中第二十一項戶籍検査ノ事ハ市長へ分任セス

○縣達第五十九號 明治二十四年九月四日

郡市

明治十九年(九月)達第十八號郡長ニ於テ便宜施行シテ后當廳へ報告スルヲ得ル事項ノ概目中左ノ項ヲ取消ス

五河岸地借地検査ノ事

○告示第三百二十五號 明治二十四年九月四日

明治十九年(九月)告示第三十號郡長ニ於テ便宜施行シテ後當廳へ報告スルヲ得ル事項ノ概
目中左ノ項ヲ取消シタリ
五河岸地借地検査ノ事

○訓令第二十九號 明治廿四年十月一日

郡市町村

明治二十二年訓令第三十一號町村長并ニ市町村助役市収入役ノ當選認可ノ申請ニ要スル事
項中猶左ノ一項ヲ增加ス
一議員ノ定數及出席議員ノ數

○縣達第六十一號 明治廿四年十月廿七日

郡市長

明治廿四年四月縣達第廿九號分任條件第八項「水面埋立ニ關スル箇所検査ノ事」ヲ删除ス

○告示第五百五十七號 明治二十四年十月二十七日

明治廿四年四月告示第七十九號郡市長へ分任條件中第八項「水面埋立ニ關スル箇所検査ノ
事」ヲ删除ス

郡歳入歳出及財産 郡役所經費

○乙第五號 明治十七年二月十五日

郡役所

明治十六年五月第二十三號公達ヲ以テ官省院廳ノ達并ニ告示ハ官報ニ登載スルヲ以テ公式トセラレ候ニ付テハ郡役所經費ヲ以テ官報登部購求スヘシ此旨相達候事

○乙第五號 明治十八年三月三十一日

郡役所

明治十七年度以降郡役所經費精算表及説明書別紙書式ニ照準取調年度經過後二ヶ月間内ニ可差出此旨相達候事

(別紙)

明治何年度何郡役所經費精算表

科 目	精 算 高 額	比 較	比 較	俸 給

郡歳入歳出及財産 郡役所經費

明治十七年 明治十八年

郡書記以下筆墨料及全吏員并小使賄料支給額左之通改正シ來七月一日ヨリ施行ス此旨相達候事

但經費等ノ都合ニ據リ該額内ヲ以現品ヲ支給シ若シクハ適宜減額スルハ妨ケ無シ

筆墨料	御用掛	一ヶ月分	月給拾貳圓以上	金拾錢	全	金拾貳錢
	筆生備				未滿	

賄料	前全	一度分	金三錢
	小使		金貳錢

○丙第七十七號 明治十九年六月十九日

郡役所 戶長役場

郡吏及町村吏旅費規則別紙ノ通相定ム

但明治十四年 月 乙第七十六號達郡吏旅費規則全十七年 月 丙第七十七號達ノ内戶長以下旅費日當額同丙第八十九號達ノ内戶長以下旅費規則全十八年 月 乙第二十四號達郡書記

以下旅費日當額ハ廢止ス

右相達ス

(別紙)

旅費規則

準判任御用係
二關スル件ハ
明治十九年勅
令第五十四號
地方官々々制ニ
ヨリ町村吏ニ
關スル施行ニ
ヨリ消減

明治十九年内務
省令第五十五號ニ
ヨリ郡書記ニ係
ル分消減

明治廿一年縣達
第九號ヲ以テ第
三條ヲ追加シテ第
三條以下版
次總下ク

第一條 旅費ハ郡吏(郡長ヲ除ク)町村吏公務ニ依リ旅行スルル旅行中一切ノ費用ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス

第二條 旅費ヲ分チテ二等ト別表定ムル所ニ從ヒ順路ノ路程ニ依リ汽車賃汽船賃車馬賃及日當ヲ支給ス但車馬賃及日當ハ管内外ニ區別シ之ヲ支給ス

第三條 汽車賃ハ哩數汽船賃ハ海里數車馬賃ハ里數日當ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス

第四條 海灣河湖等ノ海里ヲ以テ路程ヲ算セサル場合ハ里數ニ應シテ車馬賃ノ額ヲ支給ス

第五條 赴任又ハ管外旅行ノ爲メ其管内ヲ通過スルトキハ其路程ハ管外ニ準シ又管内巡回ノ際其便宜ニ依リ管外ヲ通過スルトキハ其路程ハ管内ニ準スヘシ

第六條 日當ハ汽車十哩未滿汽船十海里未滿及陸路六里未滿ノ旅行ニハ支給セサルモノトス但公務ノ都合ニ依リ宿泊ヲ要スルルハ其泊數ニ應シテ日當額ヲ支給スヘシ

第七條 汽車賃汽船賃及車馬賃ハ其種類毎ニ經過セシ路程總數ヲ合算シテ之ヲ支給スヘシ但其一位未滿ノ端數ハ算入セサルモノトス

第八條 旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ各年度毎ニ之ヲ區別シ旅費ヲ計算スヘシ但汽車賃及汽船賃ハ會計年度ニ係ハラス汽車汽船ノ到達地ニ着シタル日ヲ以テ之ヲ區別スヘシ

明治十九年縣令第八十五號
 以下第十條ノ追加シテ
 第十條ノ元ノ第十條ノ
 第十一條ノ元ノ第十條ノ
 第十二條ノ元ノ第十條ノ
 第十三條ノ元ノ第十條ノ
 第十四條ノ元ノ第十條ノ
 第十五條ノ元ノ第十條ノ
 第十六條ノ元ノ第十條ノ
 第十七條ノ元ノ第十條ノ
 第十八條ノ元ノ第十條ノ
 第十九條ノ元ノ第十條ノ
 第二十條ノ元ノ第十條ノ
 第二十一條ノ元ノ第十條ノ
 第二十二條ノ元ノ第十條ノ
 第二十三條ノ元ノ第十條ノ
 第二十四條ノ元ノ第十條ノ
 第二十五條ノ元ノ第十條ノ
 第二十六條ノ元ノ第十條ノ
 第二十七條ノ元ノ第十條ノ
 第二十八條ノ元ノ第十條ノ
 第二十九條ノ元ノ第十條ノ
 第三十條ノ元ノ第十條ノ
 第三十一條ノ元ノ第十條ノ
 第三十二條ノ元ノ第十條ノ
 第三十三條ノ元ノ第十條ノ
 第三十四條ノ元ノ第十條ノ
 第三十五條ノ元ノ第十條ノ
 第三十六條ノ元ノ第十條ノ
 第三十七條ノ元ノ第十條ノ
 第三十八條ノ元ノ第十條ノ
 第三十九條ノ元ノ第十條ノ
 第四十條ノ元ノ第十條ノ
 第四十一條ノ元ノ第十條ノ
 第四十二條ノ元ノ第十條ノ
 第四十三條ノ元ノ第十條ノ
 第四十四條ノ元ノ第十條ノ
 第四十五條ノ元ノ第十條ノ
 第四十六條ノ元ノ第十條ノ
 第四十七條ノ元ノ第十條ノ
 第四十八條ノ元ノ第十條ノ
 第四十九條ノ元ノ第十條ノ
 第五十條ノ元ノ第十條ノ
 第五十一條ノ元ノ第十條ノ
 第五十二條ノ元ノ第十條ノ
 第五十三條ノ元ノ第十條ノ
 第五十四條ノ元ノ第十條ノ
 第五十五條ノ元ノ第十條ノ
 第五十六條ノ元ノ第十條ノ
 第五十七條ノ元ノ第十條ノ
 第五十八條ノ元ノ第十條ノ
 第五十九條ノ元ノ第十條ノ
 第六十條ノ元ノ第十條ノ
 第六十一條ノ元ノ第十條ノ
 第六十二條ノ元ノ第十條ノ
 第六十三條ノ元ノ第十條ノ
 第六十四條ノ元ノ第十條ノ
 第六十五條ノ元ノ第十條ノ
 第六十六條ノ元ノ第十條ノ
 第六十七條ノ元ノ第十條ノ
 第六十八條ノ元ノ第十條ノ
 第六十九條ノ元ノ第十條ノ
 第七十條ノ元ノ第十條ノ
 第七十一條ノ元ノ第十條ノ
 第七十二條ノ元ノ第十條ノ
 第七十三條ノ元ノ第十條ノ
 第七十四條ノ元ノ第十條ノ
 第七十五條ノ元ノ第十條ノ
 第七十六條ノ元ノ第十條ノ
 第七十七條ノ元ノ第十條ノ
 第七十八條ノ元ノ第十條ノ
 第七十九條ノ元ノ第十條ノ
 第八十條ノ元ノ第十條ノ
 第八十一條ノ元ノ第十條ノ
 第八十二條ノ元ノ第十條ノ
 第八十三條ノ元ノ第十條ノ
 第八十四條ノ元ノ第十條ノ
 第八十五條ノ元ノ第十條ノ
 第八十六條ノ元ノ第十條ノ
 第八十七條ノ元ノ第十條ノ
 第八十八條ノ元ノ第十條ノ
 第八十九條ノ元ノ第十條ノ
 第九十條ノ元ノ第十條ノ
 第九十一條ノ元ノ第十條ノ
 第九十二條ノ元ノ第十條ノ
 第九十三條ノ元ノ第十條ノ
 第九十四條ノ元ノ第十條ノ
 第九十五條ノ元ノ第十條ノ
 第九十六條ノ元ノ第十條ノ
 第九十七條ノ元ノ第十條ノ
 第九十八條ノ元ノ第十條ノ
 第九十九條ノ元ノ第十條ノ
 第一百條ノ元ノ第十條ノ

第九條 檢田測量及土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡視スルトキハ車馬賃ヲ給セス日當額ニ三割ヲ増給スヘシ

第十條 赴任旅費ハ舊任地ヨリ新任地ニ至ルマテ本官相當ノ車馬賃汽車賃若シハ汽船賃ノ二倍ヲ支給スヘシ

第十一條 新ニ任用スル爲メ召喚スルモノハ任地迄其任官相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第十二條 廢官若クハ退官ノ際事務引繼殘務取調其他公務ノ爲メ旅行セシムルハ前官相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第十三條 旅行中歸省其他私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキハ順路ノ路程ニ應ジ旅費ヲ支給スヘシ

第十四條 旅行中廢官死亡又ハ諭旨退官シタルモノハ前官相當ヲ以テ舊任地マテノ旅費ヲ支給スヘシ

第十五條 前二條ノ場合ニ於テ日當ヲ給スル爲メ其日數ヲ計算スルハ汽車旅行ハ一日二百哩汽船旅行ハ一日百海里陸路旅行ハ一日十二里計トス但距離接近シテ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行時間ハ十二時トシ其日數ヲ計算スヘシ

(別表)

等 級	郡 書 記		管外車馬賃	管内車馬賃	管外日當	管内日當
	戸 長	準判任御用係				
一 等	四 錢	四 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
	四 錢	六 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
二 等	三 錢	三 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
	三 錢	五 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
三 等	三 錢	三 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
	三 錢	三 拾 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
四 等	三 錢	三 拾 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ
	三 錢	貳 拾 五 錢	一 里每ニ	一 里每ニ	一日每ニ	一日每ニ

訓第四十六號 明治十九年七月十日

郡 長

郡吏及町村吏ヲテ非常急行上同隨行等ヲ命シタル場合ニ於テ定額ノ車馬賃ヲ以テ支辨シ難シト見認ムルモノハ實費ヲ支給スルヲ得
 右訓示ス

明治十九年内務省令第十五號ニヨリ郡書記ノ項消滅

明治十九年縣令第四十二號同廿一年縣令第四十九號同廿四年縣令第五十八號ヲ以テ本項中改正

郡書記ニ係ル件ハ明治十九年大藏省令第二十三號ニヨリ町村制施行ニヨリ消滅

戸長役場用掛三係レ
件ハ市制町村制施行
ニヨリ消滅

○達第二十六號 明治十九年九月十七日 郡役所 戸長役場
郡役所備戸長役場用掛等ニシテ公務ニ依リ傳染病豫防救治ニ従事シ爲メニ感染シタルトキ
ハ明治十年月十二 第八十九號公達ノ區別ヲ以テ療治料埋葬料扶助料ヲ支給ス

○達第廿八號 明治十九年九月二十日 郡役所

郡役所雇俸給ノ義ハ判任官俸給令ニ準シ支給ス

○訓示第五十七號 明治十九年十月二十日 郡長 戸長

郡吏町村吏ニシテ検田測量及土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡視スルニ當リ里程六里未満ニシテ
宿泊セザルトキハ發應ヨリ歸應迄ノ直路里程ヲ通算シテ車馬賃ヲ給スルヲ得

○達第四十六號 明治十九年十月二十一日 郡役所 戸長役場

郡役所及戸長役場備日給支給規則左之通相定ム

郡役所及戸長役場備日給支給規則

第一條 日給ハ毎月二十八日(前月二十六日)ヨリ當月二十五日迄ノ分)支給ス

明治十九年丙第七十
七號達第十條全香郡
書記ニ係ル分ハ明治
十九年内務省令第二十
五號ニヨリ町村吏ニ
係ルハ市制町村制施
行ニヨリ消滅

戸長役場雇ノ件ハ市
制町村制施行ニヨリ
消滅

明治廿一年縣達第二
十七號ヲ以テ改正

但休日ニ當ルトハ順次繰上クルモノトス

第二條 左ノ各項ニ該ルモノハ其日給ヲ支給ス

一官廳一般ノ休日

但臨時雇又ハ筆耕等ノ名義ヲ以テ日數ヲ限リ雇入タル者及給仕小使諸職人ハ此限
リニアラス

一公務ニヨリ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ療養中

第三條 歸省又ハ病氣忌引其他ノ私事ニヨリ出仕セザルモノハ支給セズ

第四條 前日病氣等ノ爲メ出仕セズ翌日休日ナルトキハ其休日ノ俸ヲ支給セズ

第五條 臨時雇又ハ筆耕等ノ名義ヲ以テ日數ヲ限リ雇入タル者及給仕小使諸職人ハ出仕日

數ニ應シ支給ス

但給仕小使ニシテ月給ノモノハ月給額ニ出仕日數ヲ乘シ其月現日數ヲ以テ除シ支給ス
ルモノトス

第六條 出張中解僱ノトハ其令書拜受ノ日迄ヲ支給ス

第七條 解僱者ノ日給ハ第一條ノ定日ニ依ラズ其都度支給ス

○縣達第四十二號 明治二十年三月十七日 郡役所 戶長役場
 明治十九年十月達第三十七號郡書記旅費及全年六月丙第七十七號達郡吏及町村吏旅費規則中郡役所履旅費支給額明治二十年度ヨリ左表ノ通改定ス

旅費支給額表

郡書記	一哩毎	一海里毎	一里毎	一里毎	一日毎	一日毎
六錢	六錢	八錢	六錢	七拾錢	五拾錢	
四錢	四錢	六錢	四錢	三拾五錢	三拾錢	

○縣達第六十四號 明治二十年五月十二日 郡役所

郡役所雇員ニシテ解職及死亡ノ時ハ當月分ノ俸給自今日割テ以テ支給ス

○縣達第七十五號 明治二十年五月廿五日 郡役所

郡役所用度物品受拂帳書式左ノ通相定候條本年六月一日ヨリ施行ス

明治廿一年縣達第廿九號ヲ以テ改正

明治何年何月 備品受拂簿 何郡役所

買	月日	品名	數量	月日	拂	受取人領収印
		本箱壹	個			⑤
		椅子壹	個			⑤

明治何年何月 消耗品受拂簿 何郡役所

(美濃紙 表紙 綴糸 諸鑑札等之ヲ分チ見出チ貼付スヘシ)

紙	折	中		受取入額 印	殘 高
		何月何日	何月何日		
			千位 〇〇〇		
				千位 〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	
				千位 〇〇〇	

町村吏ニ係ル
分ハ市制町村
制施行ニヨリ
削減

○縣達第八十五號

明治二十年六月十四日

郡役所 戶長役場

明治十九年六月丙第七十七號郡吏及町村吏旅費規則中左ノ一條ヲ追加シ第十條ヲ第十一條トシ以下順次繰下シ

第十條 甲乙兼務ノ者ニシテ其任地間チ旅行シタルトキハ其路程ニ應ジ旅費ヲ支給スヘシ但乙ノ任地ニ在ルモ別ニ日當ハ支給セス

戶長役場ノ件ハ市
制施行ニヨリ
削減

○縣達第二號

明治二十一年一月七日

郡役所 戶長役場

明治十九年十月達第四十六號郡役所及戶長役場備日給支給規則第一條左ノ通改正ス

第一條 日給ハ毎月二十八日(休日ニ當ルトキハ順次繰上ケルモノトス)ヲ以テ前月二十六日ヨリ當月二十五日迄ノ分チ支給ス

但三月分ニ限リ二十六日ヨリ三十一日迄ヲ打切り翌月二日ニ之チ支給スルモノトス

○縣達第九號

明治廿一年一月廿八日

郡役所

明治十九年六月丙第七十七號郡吏及町村吏旅費規則中左ノ通追加及改正シ本年二月一日ヨリ施行ス

第三條 町村吏其所轄内ニ係ル出張巡回ハ其旅費ヲ支給セス

但役場所在地ヨリ直路距離二里以上ノ場所ニ限リ第二條第七條ニ據リ日當ノミチ支給ス

第三條ヲ第四條トシ以下順次繰下シ

第十一條 甲乙兼務ノ者ニシテ其任地間チ旅行シタルトキハ其路程ニ應ジ旅費ヲ支給シ其乙ノ任地ニ在ルモ別ニ日當ハ支給セス

郡歳入歳出及財産 郡役所經費

明治二十一年

但甲乙間ノ直路路程二里未満ノモノハ一切旅費ヲ支給セス

○縣達第十一號 明治二十一年二月一日 郡役所

郡役所經費豫算内譯帳別冊書式ニ據リ翌年度分取調毎年六月三十日限差出スヘシ

但別冊ハ特ニ頒布ス

(別冊)

明治何年度某郡役所經費豫算内譯帳

前々年度實費金何程

一金何程

那書記俸給

前年度豫算ニ對シ金何程増加(減少)セシハ何々ノ手山ニヨリ(前年度豫算ハ縣廳ヨリ送シタル金額ナリ以下同前)

前々年度實費金何程

一金何程

雜給

内譯

前々年度實費金何程

金何程

那書記旅費

前年度豫算ニ對シ金何程増加(減少)セシハ云々

前々年度實費金何程

金何程

備給

内

前々年度實費金何程

金何程

臨時備給

前年度豫算ニ對シ金何程増加(減少)セシハ云々

前々年度實費金何程

金何程

給仕給

前全斷

前々年度實費金何程

金何程

小使給

前全斷

前々年度實費金何程

金 何 程	現金 遞 送 費
前年度豫算ニ對シ金何程増加(減少)セシハ云々	
前々年度實費金何程	物 品 遞 送 費
金 何 程	
前全斷	
前々年度實費金何程	賄 費
金 何 程	
前全斷	
前々年度實費金何程	書記以下宿直賄料
金 何 程	
前全斷	
前々年度實費金何程	小使宿直賄料

金 何 程	臨 時 賄 料
前全斷	
前々年度實費金何程	
金 何 程	印 刷 費
前全斷	
前々年度實費金何程	
金 何 程	雜 費
前々年度實費金何程	
合計金何程	
明治何年度某郡役所經費豫算明細表	
郡書記俸給	
官 等	第 一 課
判 任 官 三 等	第 二 課
全 四 等	第 三 課
	月 計
	年 計

小使給		人	員	日	給	額	延	日	數	金
何	人	何	程	何	何	何	何	何	何	何
爲替方給料		月	給	額	年	計				
何	程	何	程	何	程	何				
臨時人足費		日	給	額	延	人	員	金		
何	程	何	程	何	程	何	程	何	程	何

慰勞手當		月	給	額	步	合	金			
何	分	何	程	何	程	何	程	何	程	
手數料		爲替手數料	送	金	額	縣	應	迄	ノ	里
何	程	何	程	何	程	何	程	何	程	何
新聞紙廣告料		一	日	程	料	延	日	數		
何	程	何	程	何	程	何	程	何	程	何
合計		○								
備品		官	品	名	數	量	一	個	價	金
何	程	何	程	何	程	何	程	何	程	何
郡歲入歲出及財產 郡役所經費 明治二十一年										

美濃野紙	品名	數量	壹個價	金額	合	何	下	草	布	雜	塵	帚	瓶	柄
					計	々	駄	履	巾	巾	取			杓
					○									
					○									
					何									
					程									

平均	延	度	數	金	額	合	何	朱	炭	油	何	何	何	狀	表	卷	中
						計	々	肉		耕	切	用	用	紙	紙	紙	紙
						○											
						○											
						何											
						程											程

何程何度何程
電信料ハ郵便税ニ準ス

費

現金 遞送	何	一里ノ賃	延里	程	金
物品 遞送	何	程	何	里	何
合計	〇	程	〇	里	何

賄費

書記以下宿直賄料	何	一度直ノ料	延度直	數	金
小使宿直賄料	何	程	何	直	何
臨時賄料	何	程	何	度	何
合計	〇	程	〇	度	何

印刷費

名稱	平均一枚ノ價	延枚數	金
告示何々等	何	何	何

雜費

借地料	何	一月一坪ノ料	延坪日數	金
借家料	何	程	何	坪
臨時借家料	何	程	何	日
合計	〇	程	〇	何

明治二十四年
縣達第五十八號
以テ改正
ニ付消滅

○縣達第二十九號 明治二十一年三月二十三日 郡役所 戶長役場
明治二十年縣達第四十二號郡書記及郡役所履旅費支給額明治廿一年度ヨリ左表ノ通改定ス
旅費支給額表

一哩每	一海里每	一里每	一里每	一日每	一日每
瀛車賃	瀛船賃	管外車馬賃	管内車馬賃	管外日當	管内日當
五錢	五錢	七錢	五錢	六拾錢	四拾錢
三錢	三錢	五錢	三錢	三拾五錢	三拾錢
郡書記	郡書記	郡書記	郡書記	郡書記	郡書記
三錢	三錢	五錢	三錢	三拾五錢	三拾錢
雇	雇	雇	雇	雇	雇

○縣達第六十八號 明治二十二年六月二十五日 郡

郡役所經費受拂ハ毎三ヶ月ヲ以テ一期トシ別紙書式ニ據リ勘定帖ヲ調製シ其支拂金ニ該當スル領收證書ヲ添付シ翌月二十日限リ其地ヲ發シ縣廳ニ進達スヘシ

但明治十四年^{十二}乙第百七十九號全十七年^六乙第二十四號達ニ廢止ス

用紙半紙綴目表裏并小口甲乙ノ兩紙ニ郡長御印スヘシ

明治何年度 自何年何月 至何年何月 經費受拂勘定帳

何 郡 役 所

一 金	明治何年 自何月 至何月 經費受拂勘定帳	元 受 高
一 金	此 譯	前 期 ヲ 越 高
一 金	金(爰ニ掲クルハ第二期以降ノ書式)	縣 廳 ニ 領 收
一 金	但 證 何 號	任 拂 高
一 金	此 譯	
一 金	金(書記月給)	俸 給
一 金	內 譯	雜 給
一 金	金(書記旅費)	旅 費
一 金	內	備 給
一 金	臨 時 備 給	

右ハ明治何年何月ヨリ全年何月マテ諸費仕拂勘定仕上書面之通相違無之候也

年號月日

何郡長 氏 名 印

縣知事宛

(未期返納金有之時ノ書式)

一金

元拂差引殘高

年號月日縣廳納

(未期ノ書式)

右ハ明治何年一月ヨリ全年三月迄諸費仕拂勘定仕上書面之通相違無之候就テハ明治何年四月ヨリ何年三月迄ニ屬スル費用ニ於テ需要還納其他脱落等一切無之候也

年號月日

何郡長 氏 名 印

縣知事宛

○縣達第三十七號 明治二十三年五月十日

郡

明治十九年十月達第四十六號郡役所備日給支給規則第一條ヲ左ノ通改正ス
第一條 日給ハ毎月之ヲ計算シ其月末日ニ支給ス

但休日ニ當ルトキハ順次繰上ケトス

○縣達第五十三號 明治二十三年九月十一日

郡

郡書記以下俸給ノ義ハ毎月二十二日ヲ以テ支給ス

但休日ニ當ルトキハ順次繰上ケトス

○訓令第十四號 明治廿四年四月二十二日

郡

本年四月内務省令第二號第二條ニ據リ郡歳入出豫算ニ添付スヘキ説明書ハ別冊ノ式ニ依リ整理ス可

(別冊)

明治何年度某府縣某郡歳入豫算説明

歳入經常ニ關スル部

本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其理由ハ概テ何々ニ由ル

第一款 財産收入

本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其理由ハ何々ニ由ル

<p>第二款 雑收入 本年度云々</p>		<p>歳入臨時ニ關スル部 本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其理由ハ概テ何々ニ由ル</p>	<p>第一款 繰越金 本年度云々</p>	<p>第二款 府縣補助金 本年度ニ於テ此補助金アルハ何々ノ理由ニ由リ某費ノ内某費ニ對スルモノ(若干某費ニ對スルモノ若干)ナリ</p>	
<p>第三款 各町村分賦額 本年度云々</p>					
<p>歳入經常部</p>					
科	目	本年度 豫算高	前年度 豫算高	比 増減	備考
第一款	財産收入				

<p>第一項 不動産收入</p>		<p>第二項 動産收入</p>	<p>第一項 雑收入</p>		
第一目	地所貸下料			第一目	公債證書利子
第二目	家屋貸下料			第二目	株券利子
第三目	竹木賣拂代			第三目	預ケ金利子
第四目	土石賣拂代			第五目	下草及産物賣拂代
<p>第一項 授業料</p>		<p>第二目 某學校收入</p>			
<p>第一目 某學校收入</p>		<p>第二目 某學校收入</p>			

第二項 物品賣拂代		第一目 不用品賣拂代	
第三款 各町村分賦額			
第一項 各町村分賦額	第一目 某村	同若干圓	前年度直接國稅府 縣稅徵收額若干圓
	第二目 某村	同若干圓	
	第三目 某町	同若干圓	
歳入經常部合計			
歳入臨時部			
第一款 繰越金			
第一項 前年度繰越金	第一目 前年度繰越金		前年度決算未濟概 算殘金
第二款 府縣補助金			
第一項 某費補助金			

第二項 某費補助金		第一目 某費ノ内某費ニ對スル補助	
第三款 寄付金		第一目 某費ノ内某費ニ對スル補助	
第一項 某費寄付金	第一目 某費ニ對スル寄付		某町村某外何人 リ出願ノ分
第二項 某費寄付金	第一目 某費ニ對スル寄付		
第四款 財産賣拂代			
第一項 公債證書賣拂代	第一目 何公債證書		
	第二目 何公債證書		
第五款 郡債			
第一項 郡債			

第二款 郡吏員費									
第一項 吏員費									
	第一目	俸給							
	第二目	旅費							
	第三目	雜給							
	第四目	雜費							
第二項 委員費									
	第一目	旅費							
	第二目	雜費							
第三款 土木費									
第一項 道路橋梁費									
	第一目	道路修繕費							
	第二目	並木植栽費							
	第三目	標柱費							

第二款 治水堤防費									
	第一目	治水費							
	第二目	堤防費							
第三款 港灣費									
	第一目	修繕費							
	第二目	浚渫費							
第四款 教育費									
第一項 某學校費									
	第一目	俸給							
	第二目	雜給							
	第三目	校費							
第五款 衛生及病院費									
第一項 衛生費									

ノ如キ堤防新築ノ如キ橋梁架換ノ如キ經常ノ歳出ニ屬セサルモノハ凡テ臨時ノ歳出ト爲スヘキコト當然ナリトス

四 説明書中前年度ノ對比ハ郡費創始ノ年度ニ在テハ其更ニ豫算ヲ設クル必要ノ理由ヲ詳記スルコト勿論ナレトモ從來一郡總町村ノ事業ニシテ郡制施行ノ爲郡費ニ移ルモノハ之ヲ前年度ノ豫算ニ對比シ其理由ヲ詳記スルヲ要ス

五 郡制第六十四條ニ依リ郡債ヲ起スノ場合ニ在テハ起債ノ方法利息ノ定率各年度償還額等ヲ詳記シ豫算外別議案ヲ用フルモノトス

○訓令第十八號 明治廿四年四月二十四日

郡

郡及郡長管理ニ係ル學事水利又ハ町村組合等ノ歳入出納方ハ明治二十四年度所屬ノ分ヨリ總テ明治二十二年(五月)訓令第五十五號市町村歳入出納順序ノ例ニ準シ取扱フ可シ

○縣達第三十號 明治廿四年五月十五日

郡

明治十九年(十一月)達第五拾五號郡役所金錢出納規則別冊之通改正ス
但別冊ハ別ニ頒希ス

(別冊)

郡役所金錢出納規則

總則

第一條 諸經費ノ收入支出ハ每會計年度ノ豫算ニ依ルヘシ

第二條 寄託金假拂金繰替金等ニシテ一時ノ取扱ニ係ルモノハ豫算ニ依ラズ現金收入支出スヘシ

第三條 諸經費トハ管理スル處ノ事業ニ屬スル諸費ニシテ決算整理スヘキモノナク云フ

第四條 寄託金トハ人民ヨリ諸官衙へ上納スヘキモノ又ハ諸官衙ヨリ人民へ下附スヘキモノ、寄託ヲ受ケ一時其取扱ニ係ルモノナク云フ

第五條 假拂金トハ經費支拂ニ屬スルモノニシテ其本拂ニ至ラサルモノナク云フ

第六條 繰替金トハ經費ニ屬セサルモノニシテ現金ヲ以テ戻入ルヘキモノナク云フ

第七條 現金ノ收入支出豫算ノ記帳及假拂金ヲ本拂ニ更訂ヲ要スルトキハ其年月日番號ヲ

明記シ郡長ノ印章アリテ信憑證據ト爲スヘキ書類則チ憑書ト稱スヘキモノヲ要ス(隱形第一號)

但憑書ハ各其事件擔任ノ主係ニ於テ調製スルモノトス

豫算

第八條 郡吏員給料旅費及廳中諸費廳舎建築修繕費町村道路橋梁修繕補助費ノ豫算ハ縣廳ノ令達ニ依ルヘシ

收入

第九條 郡吏員給料旅費及廳中諸費廳舎建築修繕費及町村道路橋梁修繕補助費ハ各其定ムル處ノ令達ニ依リ縣廳ヨリ下附シタルトキ之ヲ收入ス可シ

第十條 前條ノ收入ハ其添付ノ書類ヲ帳簿豫算ニ就キ當否ヲ審査シ然レ後第七條ノ憑書ヲ調製添付シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 前條ノ手續了レハ其領收證書ヲ發スヘシ (雜形第二號)

支拂

第十二條 支拂金ハ總テ其金員ヲ算出シ得ヘキモノヲ明記シタル正當受取人ノ領收證書ヲ徴ス可シ

第十三條 郡吏員給料旅費及廳中諸費廳舎建築修繕費町村道路橋梁修繕補助費ノ支拂アルトキハ帳簿ノ豫算ニ就キ當否ヲ審査シ然レ後第七條ノ憑書ヲ調製添付シ支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 寄託金ノ支拂アルトキハ先ニ收入シアル處ノ帳簿ヲ點檢シ然レ後前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 前二條ノ手續了レハ仕拂切符ヲ調製シ其乙ハ爲替方ニ下附シ甲ハ受取人ニ交付ス可シ (雜形第三號)

決算

第十六條 郡吏員給料旅費及廳中諸費廳舎建築修繕費町村道路橋梁修繕補助費ハ各其定ムル處ノ令達書式ニ依リ勘定帳若クハ報告書ヲ縣廳ヘ差出ス可シ

帳簿

第十七條 收入支出ニ要スル帳簿ハ左ノ如シ (雜形第四號)

- 但一帳簿ノ細節ヲ明瞭ナラシムル爲メ別ニ補助簿ヲ設クルハ適宜ナルヘシ
- 一日計簿
- 一 郡吏員給料旅費及廳中諸費受拂簿
- 一 廳舎建築修繕費受拂簿
- 一 町村道路橋梁修繕補助費受拂簿
- 一 寄託金明細簿

- 一 假拂金明細簿
- 一 繰替金明細簿
- 一 豫備金元受簿

第十八條 前條ノ帳簿ハ憑書ニ掲記スル處ノ年月日番號金員及事項ノ摘要ヲ轉記スルモノトス而シテ日計簿ヲ除クノ外ハ総テ細目又ハ種類ヲ區別スヘシ

第十九條 日計簿ハ當年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日乃至ル現金ノ收入支出ヲ總テ登記スルモノニシテ其收入ハ借方ニ支出ハ貸方ニ登記シ以テ現在高金ヲ明瞭ナラシムヘシ

第二十條 各受拂簿ハ會計年度ノ收入豫算ヲ借方ニ支出豫算ヲ貸方ニ登記シ而シテ現金收入ヲ貸方ニ支出ヲ借方ニ登記シ以テ豫算殘高ヲ明瞭ナラシメ且決算整理ノ根據トナスヘシ

第二十一條 寄托金明細簿及豫備金元受簿ハ收入ヲ貸方ニ支出ヲ借方ニ登記シ以テ支出未済ノ高金ヲ明瞭ナラシムヘシ

第二十二條 假拂金明細簿ハ支出ヲ借方ニ精算高若クハ收入ヲ貸方ニ登記シ以テ精算未済ノ高金ヲ明瞭ナラシムヘシ

第二十三條 繰替金明細簿ハ支出ヲ借方ニ戻入ヲ貸方ニ登記シ以テ返納未済ノ高金ヲ明瞭ナラシムヘシ

第二十四條 諸帳簿ハ毎日計算シ殘高ヲ掲ケ日計表ヲ調製スヘシ (雛形第五號)

(用紙半紙野位藍色)

第 號		明治 年 月 日	主 任	何 郡 役 所
(第一號)				
紙 用 納 出 錢 金				
郡 長		收入ノ件		
大 科 目	小 科 目	細 科 目		
一 金、		某		
但、		納		
右收入相成可然哉				

支
月
日

紙 用 納 出 銀 金			
第	號	明 治	年
	判決	月	日
			任主
			何 郡 役 所
郡 長			
支 出 ノ 件			
大 科 目	小 科 目	細 科 目	
一 金、、、、		某 渡	
但、、、、			
右支出相成可然哉			

(用紙半紙野谷紺色)

報
月
日

紙 用 告 報			
第	號	明 治	年
	判決	月	日
			任主
			何 郡 役 所
郡 長			
報 告 ノ 件			
大 科 目	小 科 目	細 科 目 (貸 方)	
大 科 目	小 科 目	細 科 目 (借 方)	
一 金、、、、			
但、、、、			
右(記帳(更訂)相成可然哉			

(用紙半紙野黑色)

明治廿四年

(用紙洋紙 野黒色)

縦三寸五分

横三寸五分

(號二第)

第 號

一金

但

明治 年 月 日

課長

主任

郡長

第

證

一金

但

右領收候也

郡長氏名印

課長

主任

分五寸三横寸五縱

寸四横寸五縱

(號三第)

寸四横寸五縱

爲換方

明治 年 月 日

郡長氏名

右金員仕柳切符本日提出候也

課長 主任

甲

第

號

明治 年 月 日

郡長氏名印

右金員此證書引換ニ當廳爲替方ニ於テ可相渡候也
但此切符ヲ受取タルモノニ裏書ノ趣ヲ相心得テ

課長 主任

甲

第

號

一金

但

號

明治 年 月 日 仕柳一渡人

課長

主任

明治廿四年

(面 張)

一此切符ヲ現金ニ引換ルノ期限ハ表面記載ノ日ヨリ向三十日
 期限ハ
 右期限中何人ヲ問ハズ取引勝手ナルニシ
 一此切符持參ノ者ハ何人ヲ不論切符引換ニ現金ヲ相渡ス
 ヲ
 但休日及ヒ退廳時限後ハ引換サナサス
 一此切符所持人ヨリ於テ萬一之ヲ紛失シタルトキハ速ニ番號及
 ヒ金員ヲ記載セラル背面ヲ以テ表面ニ記載セラル官廳ニ申
 出ニシ然ルトキハ其事故ヲ取札ヲ現金ヲ相渡スヲアルヘシ
 一現金ハ有合ノ通貨ヲ渡スヘシ其種類明記アルモノハ此限ニ
 フラス

(第四號)

何年何月ヨリ
 日 計 簿

(用紙別紙)

何郡役所

月	日	番號	摘	要	借	方	貸	方	残	高
何	何	收	何年度經費何月分縣廳ヨリ受入			五〇〇〇〇				
何	何	支	何年度經費俸給何月分支拂				一五〇〇〇			
何	何	支	郡書記某何年何月中何處ニ出張 旅費假拂				一〇〇〇〇			
何	何	支	火災小屋掛料某外何人分繰替拂				二〇〇〇〇			
何	何	收	火災小屋掛料繰替金縣廳ヨリ償 還			三〇〇〇〇				
何	何	收	備荒儲蓄金豫備金受入			一〇〇〇〇〇				四〇〇〇〇〇

郡歳入歳出及財産 郡役所經費 明治廿四年

